

技術士キャリアモデル集

Vol.2

-あなただけのトクベツな未来を拓きましょう-



目次



はじめに	1
技術士って	3
キャリアモデル	8
編集後記	62
日本技術士会DEI推進宣言の概要	63

表紙イラスト 神田蘭子さん

リュックを背負って旅する人の頭上で、目標とする星が目印となって見守るように、光輝いているイラストです。手に持っているのは、未来を目指す羅針盤です。この冊子を手に取ったあなたも、羅針盤を持ってあなただけのトクベツな未来を拓きましょう。

はじめに



公益社団法人 日本技術士会 DEI委員会
委員長 飯島 玲子

こんにちは！この冊子を手に取っていただき、ありがとうございます。

さて、突然ですが、女性は理工系に向いていないという考えは誤りです。OECD（経済協力開発機構）が実施する国際的な学習到達度調査では、15歳の「数学を使って問題を解決する力」は日本の男女でほぼ変わらず、いずれも世界トップレベルです。そして、技術士第二次試験合格率は女性が男性を上回ります。

ところが、日本の大学で理工農学系を学ぶ学生に女性は1割程度でOECDで最下位です。その背景には「数学や物理は女子に向いていない」「数学や物理ができる女子は可愛くない」といった無意識のバイアス（アンコンシャス・バイアス）があるとされています。もし、周囲にこのような考えがあると、苦手意識で委縮し成績が下がる、わざと苦手なふりをする、希望する進路をあきらめるといった状況を招きます。

日本技術士会はDEI（Diversity 多様性、Equity 公平性、Inclusion 包摂性）を推進し、誰もがその人らしく生きられる社会の実現に貢献することを宣言しました。

数学や物理ができる女子は文句なしに「かっこいい」です。もし数学や物理が不得意でも、化学や生物が好きで理工系に進んだり、文系出身で活躍している技術者はたくさんいます。技術職の魅力は、仕事を通じた社会貢献が目に見えやすく達成感を得やすいこと、また、一般に収入も高めで、磨いた技術は人生100年時代のキャリアにずっと役立つことなど多くあります。技術士についてもっと知りたい方、リアルにお話してみたい方は、当委員会主催の技術サロンにどうぞご参加ください。

この冊子では、技術士の国家資格を持つ様々なキャリアモデルを、女性を中心にご紹介しています。女性といってもキャリアはさまざまですが、共通点として、メンター、コーチ、サポーターといった様々な形で職場の支援を得られている点、そして、何ごとにもポジティブに捉え次につなげる意識、さらに、周囲への感謝、技術者としての社会貢献意欲の高さなどが挙げられます。また、男性も従来の「男らしさ」に縛られず、子育て、趣味、自己研さん、イクボスなど豊かな人生を送られています。

皆さまのキャリアのパーツモデルをここから集め、心に留めておいていただけると嬉しいです。

DEIに至る日本技術士会の歩み

2008年 技術者をめざす女子学生を支援する会 WPETF（Women Professional Engineers Task Force）を登録グループとして登録し、技術サロンを開始

2011年 男女共同参画推進委員会（以下、男女委員会と記す）を設置

2017年 男女委員会内にD&I小委員会を設置し、DEIフォーラム開催等の活動を開始

2025年 日本技術士会DEI推進宣言を策定、男女委員会をDEI委員会に名称変更して再設置

日本技術士会

IPEJ Diversity, Equity and Inclusion Statement

DEI推進宣言

3つの
「シンカ」

1. 意識の**深化** ～ DEI 風土・文化の醸成～
2. 仕組みの**進化** ～多様な技術士の活躍～
3. 社会貢献で**真価** ～多様な技術による社会課題解決～



日本技術士会DEI推進宣言ポスター（2025年3月策定）

※宣言の概要は63ページをご参照ください。

技術士って



日本技術士会で発行している案内パンフレット「技術士って」をp. 4～p. 7 に掲載します。子供たち向けにイラストで説明したのですが、内容は、技術士資格の特徴や、技術士がどのように社会に関わっているか、技術士の義務や責務について、簡潔に示しています。参考にさせていただくとともに、年齢を問わず、理工系を目指す学生さんや技術者・技術士を目指すみなさまにご紹介下さい。

技術士

って？

～これが技術士の世界～

「技術士」という仕事がありますが、みなさんは知っていましたか？

私たちの社会は、さまざまな科学技術によって支えられることにより便利で快適な生活が送れるようになっています。「技術士」は、科学や技術の能力を持ち、その能力を活かして社会のために働く「技術者」のな

かで、国の試験を受けて合格した人だけが使うことができる名称です。みなさんの毎日の生活のなかで「技術士」に出会うことはあまりないでしょう。しかし身近なところで技術士の世界にふれていると思います。そんな技術士の世界を、技術士の山田さんに代表して説明してもらいましょう。

ぼく健太、6年生。
今日は、お父さんの
友達の山田さんに
会いに来たんだ。
山田さんは「技術士」
なんだって。
どんなお仕事を
しているのかな？
いろいろ聞いてみよう。

健太くん



千晶ちゃん



わたし、お友達
私は千晶、5年生なの。
「技術士」は国家資格で
すごく難しい試験に合格
した人だけになれるって、
お父さんから聞いたわ。



技術士の山田さん

ハハハ、
健太くん、千晶ちゃん、
いらっしやい。
よく来てくれたね。
今日は、「技術士」の仕事に
ついて、君たちにいろいろ
教えてあげよう。



技術士さんってどうやったらなれるのかな？

技術士になるにはね、お医者さんや弁護士さんと同じような、国の資格が必要なんだよ。大学などで専門的な勉強をして、まず修習技術者というのになって、それから、仕事などで経験を積んで、国家試験を受けて合格するとされるんだよ。



技術士さんって、どんな所で働いているの？

私は、自分で「山田技術士事務所」っていう事務所を開いて、仕事をしているんだよ。そのほか、会社や学校、研究所などに勤めている人たちもいるんだ。



ぼく、お父さんと一緒によく川に行くよ。

ハゼとか、ザリガニとか、ヤゴとか川の生きものが好きなんだ。
こういうことを仕事にしている技術士の人もいるのかな？

お医者さんが小児科や眼科に分かれているように、技術士も、建設部門や情報工學部門をはじめ21の部門に分かれているんだよ。

川の生きものの研究や、水をきれいにしたり、自然にやさしくて洪水にもまけない川づくりに取り組んでいる技術士もいるよ。

それから、自然や科学だけじゃなく、工場をどう動かすのが良いとか、便利で安全な品質の良いものを作るための工夫をする仕事をしている技術士もいるよ。技術士の仕事はさまざまなんだ。



何でもできるんだね、
すごい！

でもね、社会のために働くとか、
秘密をもらしちゃいけないとか、
決まりがあるんだ。
それを守ることができるのが
技術士なんだよ。





いろいろなところで技術士^{きじゅつし}が取り組んでいるんだよ。
それにみんなでCO₂の削減^{さくげん}や安全安心などの
共通の問題にも取り組んでいるんだよ。

材 料



農業部門の技術士Aさん



ケーキ作りには、春夏秋冬、フレッシュなイチゴが必要なのよ。

私は、いつでもおいしいイチゴを育てることができ温室の開発に取り組んでいるのよ。



生乳工部門の技術士Bさん



私は、安全・安心なケーキをつくるため、材料の牛乳^{ぎゅうにゅう}やタマゴの検査^{けんさ}をしたり、新しい検査方法を研究^{けんきゅう}したりしているのよ。



上下水道部門の技術士Cさん



ぼくは、ケーキをつくる水をきれいにしたり、工場から出る排水^{はいすい}を安全に処理^{しゆり}するしくみをつくったりしているんだよ。

つくる(加工)

情報工部門の技術士Dさん



いろんな種類のケーキをたくさんつくる工場には、さまざまな機械^{きかく}があるの。

私は、工場の機械の動きをコンピュータシステムで管理しているのよ。

機械部門の技術士Eさん



ケーキづくりに、タマゴをたくさん使うよ。たくさんのタマゴを衛生的^{えいせいせい}に、早く割る機械を開発したんだよ。



電気電子部門の技術士Fさん



機械を動かすには電気が必要だね。ぼくは、工場で電気が効率良く使えるようなしくみをつくっているんだよ。

おやつをどうぞ！
このケーキにも、多くの技術士^{きじゅつし}が関わっているんだよ。



え〜!?
ケーキ作りはケーキ屋さんのパティシエの仕事じゃないの？



そうだ、
ケーキはお菓子工場でも作っているよね。
でも、技術士^{きじゅつし}さんはどこにいるのかな？



きじゅつし
技術士には、このほか、せんぱく 船舶・海洋部門、航空・宇宙部門、せんい 繊維部門、きんぞく 金属部門、しげん 資源工学部門、水産部門、
おうよう 応用理学部門、ほうしやせん 放射線部門、そくごうきじゅつかんり 総合技術監理部門があります。

売るとき(販売)



衛生工学部門の技術士Gさん



私は、工場で作ったケーキを、各地のお店にきちんと届けたり、品切れや作りすぎにならないようしくみを作っているんだよ。



衛生工学部門の技術士Hさん



私は、ケーキをフレッシュおいしくみなさんに食べてもらえるように、お店の空気をきれいにするしくみをつくっているよ。

化学部門の技術士Iさん



私は、ケーキを長持ちさせる特殊な包装フィルムの開発に取り組んでいるよ。

エコな取り組み



建設部門の技術士Jさん



私は、クリーンな工場づくりや、安全、ECOにケーキを運ぶ道路や鉄道の建設に取り組んでいるよ。



環境部門の技術士Kさん



私は、農場や工場から出てくる水が、魚の住めるような水かどうかをチェックするなど、環境にやさしい取り組みをしているのよ。



森林部門の技術士Lさん



私は、工場の敷地内にいろいろな木を植えて、地球温暖化の原因になるCO₂を吸収する緑の環境づくりに取り組んでいるんだよ。



どう?
なんとなく技術士が
理解できたかな。



私たちが
気づかないところで、
技術士さんがいろいろな
技術や社会活動に
取り組んでいるのね。



ぼくもそんな
技術士に
なりたいな。



少し技術士の仕事が解ってきたかな。
試しにYes-No 迷路で遊んでみよう。

START

技術士は、試験に合格してなれる国の資格です。

Yes

No

MEMO

国の試験に合格してなれる資格には、他に医師や弁護士があるんだよね。

技術者が試験に合格して技術士になるんだよ。

だから同じような仕事をしていても、技術士とそうでない人がいるのね。

技術士は、試験に合格したらもう勉強をしなくてもいい。

Yes

No



技術士さんって入変なんだなあ。

技術士はずっと勉強し続けていくことが決められているんだよ。



MEMO

科学や技術、社会のことを勉強し続けていく義務があるんですって。

技術士は、社会のために働く義務があります。

Yes

No

MEMO

ほかにも秘密をもらしちゃいけないとか、技術士を名乗るときは正しくとかあるんだよ。

技術士には「守らなければならない義務と責務」が法律で定められているんだよ。



だから技術士はみんなに信用されるんだね。

GOAL

これであなたも技術士が身近になりましたね。

キャリアモデル



「キャリア」とは、「人が、生涯において社会の中で様々な役割を果たしながら、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見だし、自分らしい生き方を実現していく過程」であり、その役割には、職業生活以外にも、家事やボランティア活動なども含まれます。「モデル」は、「見本・手本」ともいいます。

この冊子では、「社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現している」技術士を多く取り上げています。技術士の魅力にたっぷりと触れていただけることと思います。もし、あなたにとって「見本・手本」と思える技術士がいたら、それはあなたの将来を考えるヒントになります。そのヒントを元に、あなたらしいキャリアを築いて欲しいと思います。そして次は、ぜひ、あなたが未来の誰かの「見本・手本」となってください。

また、当委員会はウェブサイトでも、キャリアモデルとして様々な部門の技術士あるいは修習技術者を紹介しています。この冊子には掲載されていない方のお話もありますので、是非、冊子とあわせてご覧ください。

DEI 委員会ウェブサイト

https://www.engineer.or.jp/c_cmt/dei/



DEI 委員会ウェブサイトでのキャリアモデル紹介

https://www.engineer.or.jp/c_cmt/dei/categories/index575615.html



DEI 委員会の発行物

https://www.engineer.or.jp/c_cmt/dei/topics/011/011101.html



キャリアモデル一覧

掲載順	氏名	技術士部門	掲載ページ
1	野方美歩	機械	10
2	前澤峰雪	機械／総合技術監理	12
3	神田 淳	航空・宇宙／総合技術監理	14
4	河野祐子	電気電子／総合技術監理	16
5	平塚由香里	電気電子	18
6	山崎千恵	電気電子／総合技術監理	20
7	加藤靖広	建設／総合技術監理	22
8	北浦直子	建設	24
9	瀬尾弘美	建設／総合技術監理	26
10	高野真希子	建設	28
11	武井加代子	建設	30
12	堂領弘昌	建設	32
13	原田敬美	建設	34
14	森原百合	建設／環境	36
15	宇田川理沙子	上下水道／衛生工学	38
16	笹尾圭哉子	上下水道	40
17	小林裕典	衛生工学	42
18	柵木 環	農業	44
19	原田佳代子	森林／総合技術監理	46
20	岡野利之	水産	48
21	石野智子	経営工学	50
22	藤原普夫	環境	52
23	小牛田尋志	情報工学	54
24	池田紀子	応用理学／総合技術監理	56
25	木戸 ゆかり	応用理学	58
26	齋藤剛史	生物工学	60

※キャリアモデルの掲載順は、技術士法施行規則で定める技術部門の順であり、部門が同じ場合はあいうえお順です。

重ねた選択が拓く未来

野方 美歩

技術士（機械部門）

テーマパーク 開発部門

美容機器やプラネタリウムメーカーなどの開発部門で

機械設計業務に従事した後、現職



1 技術士を目指したきっかけ

社会人として歩み始めた当初、技術者として長期的なキャリアを積むことは考えていませんでした。20代前半で結婚し、機械設計の技術者として働いていましたが、「子供ができたらかこの仕事を続けられないだろう」と漠然と感じていました。というのも、身近な先輩女性技術者の多くが、結婚や出産を機に仕事から離れてしまっていたからです。

20代後半に差し掛かった頃、不妊治療を始めました。しかし、仕事との両立が難しく退職。その後、派遣の事務員兼 CAD オペレーターとして働きながら治療を続けましたが、治療の結果が出ず、仕事にもやりがいを見出せずにいました。機械設計の仕事から離れたことで、その仕事が好きだったことに気づいたと同時に、自身の技術力の衰えに危機感を覚え、治療をやめる決断をしました。その後、技術者としての仕事に復帰。その際に技術顧問から「技術士を目指してみてもどうか？」と勧められました。最初は自分には無理だと感じましたが、技術者としてキャリアを積むのであれば何らかの証明が欲しいと考え、技術士を目指すことを決意しました。

2 技術士としての仕事

現在はテーマパークで、ハロウィンやクリスマスといったシーズナルイベントやショーに関わる機械の開発に携わっています。チームでアイデアを出し合い、最適な解決策を見つけるプロセスは非常に刺激的です。もちろん課題も多くあります。安全性の確保は最優先事項であり、設計段階から厳しいチェックが求められます。これまでの業務経験や技術士試験の勉強を通じて習得した知識が、大いに役立っています。自分が担当した業務を通じて、多くの人々に喜びや楽しい体験を提供できることに、大きな達成感を感じています。

どんな仕事でも楽しいことばかりではありませんが、自分の努力の先に誰かの笑顔があるのなら、技術者としてこれほど嬉しいことはありません。ユーザーの反応を身近で感じられることが、仕事のモチベーション向上にもつながっています。

3 技術士になって良かったこと

① 社外の技術者や業界の専門家とのつながりができた

受験時に指導を受けた先生とのご縁や、技術セミナーへの参加を通じて、技術士としての立場が新たな人脈を広げるきっかけになりました。

② 他の資格取得につながった

前職では、機械器具設置の監理技術者に必要とされる資格保有者が不足していました。技術士になったことで監理技術者を担えるようになり、会社にも貢献できました。技術士は業務独占資格ではありませんが、取得することで担える役割が増えたり、受験時に科目免除となる資格なども多く、メリットは大きいと感じています。

③ 仕事をしながら勉強する習慣が身についた

受験勉強を通じて、自分の無知を痛感しました。合格後には、技術士のみなさんのレベルの高さに驚かされました。この2つが勉強を続けるモチベーションになっています。

4 ワーク・ライフ・バランスについて

現在の会社へ転職する際、単身赴任となりました。テーマパークでの業務に魅力を感じ、夫の励ましもあり決断しました。女性の単身赴任は珍しく驚かれることもありますが、働き方が多様化する中で男女の差はないと感じています。月に数回、自宅に戻ってリモートワークをすることもあり、柔軟な働き方を支えてくれる会社や周囲の理解に感謝しています。不妊治療中、このような働き方ができていたらよかったと思います。晩婚化に伴い治療を受ける人は当時より増えています。先の見えない治療中は、仕事が精神的な支えになることも多いため、両立しやすい支援が増えてほしいです。どんなライフスタイルを選んでも、自分が理想とするキャリアを歩んでいける—そんな社会を実現していきたいと願っています。



愛猫に遊んでもらうのが
帰宅時の楽しみ

技術士は理想に辿り着くためのパスポート

前澤 峰雪

技術士（機械部門／総合技術監理部門）

博士（工学）

医療機器メーカーでの R&D とシンクタンクを経て AI 業界へ転職



1 技術士を目指した動機

私は、修士号の取得を目指して機械システム工学を学びました。私の世代は女性技術者がとても少なく、採用募集はアシスタント的な技術職ばかりでした。幸運にも研究職で採用された私は、能力的に女性が男性に劣らないことを示すべく、技術探究に邁進していました。そんな私が技術士を目指したきっかけは、当時勤務していた会社の前代未聞の不幸事です。トップの交代や組織変更など社内が混乱する中、キャリアの方向性について考えることが増えました。その結果、技術の専門知識だけでなく、利益の追求だけでもない、「仕事を通して社会のためになる」という倫理観を貫ける強さを持ちたいと考え、技術士資格への挑戦を決めました。

2 取得してからのキャリアや技術士になって良かったこと

これまで、医療機器メーカーで研究職 24 年間とシンクタンク 5 年間、そして AI 業界に転職して 3 年間、技術に関わる仕事をしてきました。技術士資格を取得したのは、研究職



東京都合唱祭の様子

からシンクタンクにキャリアチェンジした時期でした。取得前後で業務的な変化はありませんが、自覚できる変化は大きく 2 つあります。1 つは、自分の軸ができたことです。「技術士」にふさわしい行動を心がけています。2 つ目は、名刺の肩書に「技術士」を記載できることです。顧客からの信頼を得やすいだけでなく、名刺交換時の話題にもつながります。

3 ワーク・ライフ・バランスについて

30代になって結婚、翌年に長女を出産しました。1か月ほど早く生まれた長女は病気がちで保育園をしばしば休んだのですが、実家を頼れず、“誰が会社を休むかバトル”が日常でした。次女誕生の頃には夫も協力的になり、私も家事の手抜きを覚え、「仕事と家庭と子育てと博士論文」の4足の草鞋を履けるようになりました。娘達が大きくなってからは、アニメや10時間耐久カラオケを一緒に楽しんでいます。数年前から地元の合唱団に所属し、ソプラノを担当しています。毎年、東京都合唱祭など複数回ステージに立つのを楽しみに頑張っています。

4 技術士取得へのアドバイス

技術士会に入会して最も良かったことは、多様な皆さんとのつながりです。現時点で、技術士資格が直接的に業務有利や待遇改善につながる業界・業種は、残念ながら限られます。それでも技術士を目指す人は、試験に合格した先に実現したい理想があるはずです。技術士資格は、その理想に早く辿り着くためのパスポートになるでしょう。できるだけ若いうちに第一次試験に合格し、技術士に求められるコンピテンシーを習得して第二次試験に挑戦して貰いたいと思います。私のこれまでの経験上、若い世代や女性は、その実力いかんにかかわらず、経験不足や未熟さがあるといった先入観で見られがちです。「技術士」の肩書でそのような先入観を払拭し、「技術士」の仕事ぶりを多くの人に知って頂きましょう。ぜひ「技術士」資格を使い倒す心意気で臨んで頂ければと思います。

5 女性キャリアに技術士を！

私は、DEI委員会の広報小委員会で渉外を担当してきたため、技術士会の内外で様々な方と会話する機会を得ています。目下の課題は、少なすぎる女性技術士をいかに増やすかです。技術士の認知度を上げ、女性のキャリアプランの選択肢に入れて貰うためにはどうしたらよいか？ぜひ一緒に考えて頂ければ幸いです。



技術サロンの様子

マネジメントする研究者

神田 淳

技術士（航空・宇宙部門／総合技術監理部門）

1993 年 科学技術庁航空技術研究所（現宇宙航空研究開発機構）

2010 年 技術士取得

資格：PMP，第 1 種情報処理技術者

趣味：テニスなど（ここ数年できず）



1 はじめに

社会人として世の中に貢献できていませんが、マネジメントとしての役割を担っていますので、管理職を目指すみなさまの自信向上のためのモデルとしてお読みください。

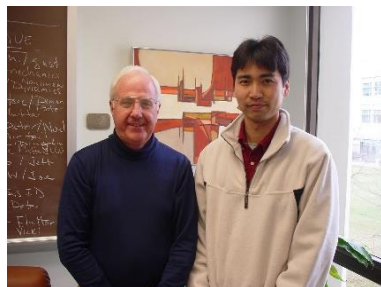
2 研究という仕事の苦しみ

高校時代からその道の専門家である研究者に憧れていましたが、大学院で宇宙機姿勢制御の研究を進めるうちに、自分に研究能力やセンスがないことに気づきました。就職先選びに迷走していたなか、居たたまれなくなった指導教授から研究機関は志望しないのかと問われ、指導教授の威光をフル活用して科学技術庁航空宇宙技術研究所（現宇宙航空研究開発機構）に 1993 年に就職しました。

当時、航空宇宙分野は工学系の学生に大人気で、トップレベルの大学のさらに成績トップの学生が入る研究所は、世界に名を馳せた人たちの巣窟でした。該当しない私は、面接で「雑巾がけ以外なら、なんでもやります」（実話）とほぼ無条件で入るしかありませんでした。結果、日本でも数名の研究者しかいない、構造振動と非定常空気の連成を扱う空力弾性学という難解な学際領域（複数の専門領域をまたがる領域）の研究に身を投じることとなりました。教科書に名前が載るような上司のもと、研究の難解さやセンスのなさ故に劣等感に苛まれ、何の成果も出せないまま、10 年ほどは悶々と過ごしていました。ただ上司が多忙な中でも困ったときには迅速に対応し、責任はすべて負ってくれたことから、研究者として留まれたと思っています。また、大学に客員研究員として 1 年間在籍中、そのときの指導教授は、研究内容が間違っているのに「興味深い！」と言って否定せず、能力を引き出そうとしてくれていたことを覚えています。

3 技術士になって良かったこと

ある時期、企業を定年退職し客員研究員として研究所に来られた、同じ研究分野の方で技術士の方がいらっしやいました。悠々自適に過ごすこともできる中、その方は自らの知識・経験を資料化して勉強会を毎週開催、その深い見識や偉ぶらない態度も相まって私は敬意を抱いたのが技術士になるきっかけでした。研究所は一般と異なる独特な世界です。技術士になり、技術士の方々との交流を通じ、一般的な社会人としての世界に交わることができ、視野も広がったと感じています。



指導者の一人と

4 部下の育成

研究者としては落第でしたが、若い人たちの足を引っ張らないようにサポートしていく立場になりました。若い人たちの個々の能力は尋常でなく高いので、能力を伸ばすというより潜在能力を顕在化させて成果を出せるようにすることに注力しています。特に、①個々の研究者への敬意を欠かさない、②上司として手柄は一切取らない、③上司がすべて責任を取り部下を守る、ということに矜持を持って育成にあたっています。加えて、ある程度のいい加減さを見せること、傾聴することに重点を置き、部下にとって安心できる上司でいられるよう努力しています。

5 アドバイスできるとすれば一つだけ

イクボスと称される方は、業務多忙のなか部下の育成にも頭を悩ませている人も多いのではないのでしょうか。私自身、厳しく指導されたことはありませんでしたが、就職するとき・技術士になるときを含め、多くの方が指導者として私に転機をもたらしてくれ、今でも社会人を務められています。そこで私からアドバイスです。部下は自分より優れた潜在的な能力を持っている、そんな能力を顕在化させ伸ばすためにはどんなサポートができるのか、と考えながら部下に接してみてはいかがでしょうか。威圧的に接すること、ガバナンスを効かせることだけが上司の役割ではありません。本稿に目を通されているみなさまは、私と違い、能力・知識・経験が豊富です。きっと部下の転機のきっかけになる、なくてはならない存在になれると思います。

技術士取得とキャリアについて

河野 祐子

技術士（電気電子部門／総合技術監理部門）

株式会社東芝

レーザー装置開発、半導体リソグラフィ設計、設計プロセス変革プロジェクト推進等を経て、2024年より内閣府勤務、現在に至る



1 技術士を目指したきっかけ

大学院で行っていたレーザーの研究が魅力的で、就職活動の際は、レーザーや光学を扱える職場を選びました。入社後は、様々な製品の実用化に向けて設計や開発を行いました。その中には、自分が設計した結果によって決まった仕様を元に量産されることもあり、研究の楽しさと、企業で働く醍醐味を感じました。特に半導体メモリのリソグラフィ設計には、産休、育休を挟みながら約10年間携わり、配線幅の微細化に伴う設計手法や最先端装置の活用などについて検討する経験を通して、技術者として成長することができました。

その後、企画部門に異動し、研究所全体の成果をまとめる業務や、重点分野を決めてテーマを推進する業務を担当した際、自身の専門分野を問われる場面が生じました。多様な製品を扱う中で、自分は何が専門なのか分からなくなっているように感じ、改めてそれらを明確にしたいと思い、技術士を目指そうと思いました。

晴れて電気電子部門の技術士となった頃は、社内の複数の事業に対して、設計プロセスを可視化し、その上で効率化を検討するプロジェクト活動を推進しており、部下を持つ立場にもなりました。その中で、マネジメントを体系的に学び、身に着けたうえで業務を実践したいと思うようになり、総合技術監理部門の受験も志しました。これらの受験では、先輩方や仲間の励ましやサポートが大きな支えになりました。

2 取得してからのキャリアや技術士になって良かったこと

技術士の取得に伴い交流の幅が広がり、様々な専門分野やキャリアパスをお持ちの方々と知り合う機会が増えました。それまで社内の研究所や、事業部所属の人たちとの業務を通じた連携はありましたが、社外の異業種の方とのコミュニケーションにより、普段当たり前と思っていた自分の環境を客観的に見直すことができました。また、受験における論文記述の練習では、簡潔な文章で必要な内容を明確に伝える文章力を培うことができました。これは、報告書

を短期間で仕上げるができるようになる等の直接的な効果があり、グループリーダーとして、メンバーの活動から技術的な進歩や事業貢献につながるポイントを抽出し、分かりやすく研究所内外に伝えることにも役立ちました。



内閣府での
講演

また、受験にあたり政府が発行する白書や方針を読み、それらが国内における技術開発の方向性を導くものであると考えるようになりました。いつかそのような場で働いてみたいと考えていたところ、チャンスを得ることができ、現在は企業からの出向者として、内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局にて上席政策調査員を務めています。近年、国際的にも重要性が増している経済安全保障の分野で、国内の研究環境をより良いものにすべく、府内の方々をはじめ、関連省庁や時によっては大学・研究機関等の方々と連携して検討しております。これらの内容は今後、政府による方針の一部として公表していくものになります。

3 ワーク・ライフ・バランス

平日はデスクワークが主なため、土日は身体を動かすようにしています。大学時代から時々離れながらも続けてきたテニスをするひときは、頭をリセットするためにも欠かせない、楽しい時間です。コロナ禍で在宅勤務が増えた際にランニングにも挑戦しました。大会に出るのが新鮮で、筋肉痛になりながら、家族にも勧めています。



マラソン大会にて

4 これからの自分

技術士を取得してからは特に、関わる人の範囲が広がってきています。引き続き、技術士会などの活動や今後のキャリアを通して、少しでも社会に貢献し、また、自身も成長していきたいと思います。

5 技術士取得へのアドバイス

是非覚悟を決めて、家族や周囲に宣言すると良いと思います。それによって、定期的な勉強時間を確保しやすくなり、また、共に勉強する仲間や先輩を得ることができると思います。取得後、もしくはその過程でも、今までと違う自分に出会うことができると思いますよ。

Let's try together!

環境の変化は成長へのチャンス

平塚 由香里

技術士（電気電子部門）

知財関連会社勤務

電子工学科卒業後、電機メーカーに入社

再就職、転職を経ながら、技術に関わる仕事を継続



1 技術士を目指したきっかけ

小さいころから実験が大好きだった私は、大学時代に技術を生活に役立てたいと考えるようになり、電機メーカーに入社しました。希望していた開発職に就くことができ、担当した業務を通じて経験を積むうちに、次の目標が少しずつ明確になり始めました。そんな折、育児のために退職し、再就職を経たことで、技術者として自立する必要性を強く感じ、技術士という資格に挑戦する決意を固めました。技術士の第二次試験は、単なる知識の試験ではなく、技術士として業務を遂行できる能力が問われるため、当初は戸惑いを覚えることもありました。しかし、受験を通じて出会った先輩技術士の姿に憧れ、自分も技術士となり、技術を安心で安全な生活のために役立てたいという強い思いを抱くようになりました。

2 技術士としての仕事

技術士資格を取得後、知財業界へ転職し、技術者として「ものを創る側」から「特許で保護する側」へと立場が変わりました。特許調査という仕事は、技術者として現場で培った知識や経験を活かすだけでなく、新しい技術と日々出会える非常に魅力的な仕事です。技術士としてより良い業務を遂行するため、発明の本質を理解し、課題とその解決策を的確に捉え、ポイントを把握するよう心がけています。そのために、普段から幅広い専門知識を習得する努力をしています。また、調査を行う際には、従来の技術との違いを正確に理解し、比較検討や評価を慎重に行うように努めています。そして、報告の際には、現場で得た知見を活かし、相手の立場に立ったわかりやすい説明を心がけています。

3 技術士になって良かったこと

技術士になって良かったことは、視野が広がり、心に余裕が生まれたことです。技術士の資格を取得したことで、これまでの限られた視点から少し離れ、全体の中での自分自身の

あり方を俯瞰的に考えられるようになりました。また、「唯一の正解」があるわけではないという認識を持つことで、課題の本質に迫りながら解決策を模索できるようになり、物事を広い視野で捉え直す力が養われました。さらに、答えに迷ったときには、単にルールに従うだけではなく、周囲の状況を思いやりながら最善の解決策を模索するようになりました。その結果、自ら考え、行動する自律性が身に付いたと感じています。

4 ワーク・ライフ・バランス

以前は、目の前のことに精一杯で、生活を楽しむ余裕がない時期もありました。しかし、子どもと共に学び、成長する中で価値観が次第に変化し、生活にゆとりが生まれると、仕事にも余裕を持てるようになりました。最近では趣味である映画鑑賞の時間も増え、生活に潤いを感じています。また、家族旅行の機会も増えました。人それぞれに幸せな働き方があるのだと、改めて実感しています。

5 技術士会に入会して良かったこと

入会して良かったことは数多くあります。まずは、ロールモデルとなる多くの方々とお出合える点です。今まで接点のなかった異なる分野の方々と交流することで、物事を異なる視点から見直す貴重な機会を得ることができました。また、仲間ができることでモチベーションが向上し、自分をより良くしたいという意識が高まりました。さらに、活動の場が広がり、修習技術者支援委員会や技術サロンなど、有意義な技術士会の活動に参加することができるようになりました。執筆の機会にも恵まれるなど、多方面で成長のきっかけを得ることができました。



技術サロンの様子

6 技術士を目指す方へ

私は、転勤や出産・子育て、再就職、転職など、さまざまな経験を通じて、一步一步新しいことに挑戦してきました。環境の変化は成長へのチャンスであり、視野を広げ、物事の見方を変える良い機会です。特に、自ら考え、自ら行動する力を若いうちに身につけることが、その後の成長につながると感じています。また、人との出会いを大切にすることも忘れないでください。私は素晴らしい人々とのご縁に恵まれ、困難な時期に何度も助けられました。一人で頑張りすぎず、多くの仲間と力を合わせることで、より大きな成果を生むことができると思います。

拘りをもって、いつかは尖った技術者になりたい

山崎 千恵

技術士（電気電子部門／総合技術監理部門）

一級電気・土木・通信施工管理技士、第三種電気主任技術者等所有
山形大学工学部卒業、富士電機㈱入社、水処理分野が分社化合併したメタウォーター㈱担当部長、下水処理場の電気設備技術設計従事



1 技術士を目指したきっかけ

大学を卒業したのは就職氷河期で、女性は特に就職が難しいと言われた時代でした。ご縁があり、富士電機㈱に入社し、上下水道プラントの電気設備の詳細設計や技術提案、開発業務などに携わっています。業務で認められるには資格が必要であると考え、積極的に取得していましたが、出産後は、平日は業務に追われ、週末は家事・育児の時間が優先となり、勉強に割く時間が無くなっていきました。その中で、管理職試験に挑戦し、技術系課長となった頃、技術士である上司の紹介で、男女共同参画推進委員会(現 DEI 委員会)主催の技術サロンに参加し、技術士の方と交流しました。それがきっかけで、一次、二次と受験して、すぐに技術士になりました。その後、10 年ほど経過し、昨年は総合技術監理部門を取得しました。

2 社内技術士会発足

私は入社した富士電機㈱技術士会に所属しておりましたが、メタウォーター㈱としての技術士会を発足させたいと考えました。人事部門との調整、活動予算の確保、体制構築など



発足会で説明する様子

さまざまな調整を経て、早期に発足させることができました。現在、会員は技術士 79 名、修習技術者の希望者の準会員 41 名で活動を行っております。受験者への勉強会・添削指導、会員への CPD 講習会など、事務局として企画運営を行っています。部門を越えた技術士同士の交流や自己研さんの機会が生まれ、社内での技術士の認知度が向上し、試験に挑戦する人も増えています。

3 技術士になって良かったこと

社内外で同業や他業種の方と交流する機会が増えました。日本技術士会男女共同参画(現 DEI 委員会)推進委員会委員補佐として、技術サロンのスタッフや女子中高生夏の学校などのイベントで若手女性技術者や大学生・中高生への支援活動、また埼玉県支部科学技術振興委員会委員として、学童等での理科実験の企画運営などを行っています。会社の業務だけでは関わることはできなかった「人」や新しい「こと」に挑戦することができました。今後も支援や地域貢献になるよう活動していきたいです。

4 いろいろな形のワーク・ライフ・バランス

そもそも、目の前のことに一生懸命になってしまいう性格なため、バランスをとることが苦手です。また、我が家では家事育児は夫婦でやり、一方が主で一方が手伝うというスタンスはありませんでした。気が付けば、夫が育児休暇、時短勤務などを取得し、職場の理解があったおかげで私自身、キャリアを継続することができました。とても課



プロジェクトメンバー作の似顔絵

題が多かったプロジェクトも成功させ、社長表彰を受賞するなど、貴重な経験を積むことができました。プロジェクトマネージャーとして全体統括や部下の指導、突発的な緊急事態も楽しそうにしている母を見て、娘は「じゃない方」の職業を目指すそうで、身近なキャリアモデルにはなれていないようです(笑)。現在は、部下がワーク・ライフ・バランスを頑張っている状況なので、育児の話を聞くと自分もそうだったかもと思いながら、突発的な対応をいつでも受け止められるようにしています。

5 技術士を目指す方へ

「技術士」の勉強はやっているうちにとても楽しくなります。新しい技術を学んでいくうちに技術士試験から離れたマニアックな内容の勉強もできました。総監部門は管理職として概念的に行っていたことを理論的に学びました。子供の受験に合わせ、一緒に勉強するために試験を受けていたつもりが、私のほうが勉強にはまっていました。

普段の業務の中で、技術的なことを意識し、日々技術力向上のために勉強しているうちに、「技術士」に仕上がっているものだと思います。楽しんでチャレンジしましょう！

人とのつながりで刺激されて

加藤 靖広

技術士（建設部門／総合技術監理部門）
日本工営株式会社（建設コンサルタント）
名古屋大学大学院生命農学研究科修了後、入社



1 技術士を目指したきっかけ

学生時代は農学（林学）を専攻し、環境保全に関する仕事をしたいと思っていましたが、正直、「技術士」という資格を全く知りませんでした。そんな中、就職活動の採用面接での「技術士を知っていますか？」の問いに全く答えられず、どのような資格なのか調べたことが、技術士を目指すきっかけとなりました。

その後、現在の会社に就職が決まり、主に公共事業に関する環境調査や環境保全に関する業務に従事する中で、「自分の思いを業務で実現していくには技術士資格が必要」と強く認識するようになりました。

2 技術士を活用した業務・活動

入社２年後に仙台へ転勤となりました。そこでは同様に技術士の取得を目指している先輩方や同僚も多く、切磋琢磨しながら試験対策を行い、数年後に技術士を取得できました。と言っても、まだ経験・実績も十分でなかった自分が、すぐに管理技術者などの責任ある立場で業務を担当できるわけもありませんでした。資格はあくまで資格であり、発注者の信頼を得て責任者として業務を進めていくためには、着実に実績を積み上げていく必要があり、技術士の取得後数年は先輩方の背中を見て学びながら業務対応をする日々でした。

その間に、名古屋への異動もありましたが、むしろこの時期に多くの技術士の先輩方の下で「技術士として業務を進めるとはどういうことか」を意識しながら取り組んだことが今の自分の礎となっていると思います。また業務以外でも、東北・中部の青年技術士の交流に参加し、同年代の多様な部門・業種で活躍している技術士仲間から刺激をもらったことも、自身の研さんにつながったと思っています。

3 ワーク・ライフ・バランス

その後、さらに東京へ異動し現在に至ります。その間に結婚し、現在は妻・長男・長女と横浜での4人暮らしです。これらの異動では、家族には何度も転居の負担をかけました。特に東京への異動は、長男が幼稚園の年長となるタイミングで、急な環境変化が体調面や精神面の不調につながり、妻もそのケアでかなり疲弊していたと思います。横浜にも慣れサッカー観戦



そのため、どうしたら暮らしを安定させられるかを家族と何度も話し合い、今後の転居の不安を振り払うため、思い切って家の購入を決めました。異動から約半年とかなり急いだ決断でしたが、その後は長男の体調なども安定し、小学校入学以降は地域になじみ、妻も娘も地域に多くの友人を得ることができています。そして、家庭の安定により私も安心して仕事に取り組んでいます。また、休日には地域のサッカーチーム（長男が小学生時代に所属）のコーチとして、様々な業種のコーチ仲間とも一緒に楽しくボールを蹴っています。

4 技術士取得へのアドバイス

私自身、いろいろな地域に異動して、多くの技術士（技術者）の方々や多様な業務の方々と一緒に仕事・活動をする中で成長できたと感じています。これから技術士を目指す皆さんにも、是非、多くの方々とのつながりを大事にいただき、多様な視点から様々な刺激を受けながら、技術士（技術者）としての自分を作り上げていただければと思います。

5 これから取り組みたいこと

社内の中堅～若手社員でも技術士資格取得者が増えてきていることから、今後は技術士として業務を進めるだけでなく、先輩方から学んだように、後輩達が活躍できるように知識やノウハウをつないでいくということをより積極的に進めていきたいと思っています。

若い頃はやりたいようにやらせてもらい（失敗もありましたが…）、それが自身の経験の蓄積やモチベーション向上につながりました。そのため、今後は後輩たちが自分のやりたいことに取り組める「場」、やりたいことをやりたいと言える「場」、多様な技術者が交わる「場」を作っていきたいと思っています。

そうすることで、それぞれの技術士が個性を生かして業務に取り組み、その技術によってより良い社会が形作られていくことにつながればと願っています。

意識の変化

北浦 直子

技術士（建設部門）

1994 年 運輸省（現・国土交通省中国地方整備局）入省

1998～2003 年 三人の子の産休と育休

2017 年 技術士（建設部門）取得



1 土木との出会い

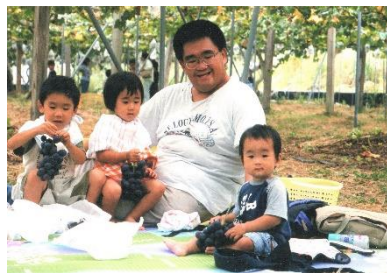
私は平成元年に高専に入学し、土木の世界に飛び込みました。当時、女子学生が多いのは建築だけで、機械、電気、土木は数年に女子学生が1人入る程度でしたが、父から「大学受験のない5年間通う高校のような学校がある」と勧められ、女子の少なさに対する不安よりも高専への興味が勝り、合格率の高かった土木科を選びました。私の学年は女子2人で、翌年から4人、8人と増え、卒業する頃にはクラスの半分が女子になっていましたので、土木を学びたい女子学生は以前から潜在的に存在し、少なくなかったのだろーうと思います。土木科は公務員になる割合が高く、女性の先輩も公務員になられたので、イメージし易かったこともあり、公務員を選んで今に至ります。女性技官第1号として入省し、当時は珍しい存在でしたが、今では技官の10人に1人は女性で、当たり前存在となっています。

2 意識の変化

独身の間は存在が珍しいだけで、男性と大差なく働き、夜遅くまで残業もしていました。「業務量が多少多くても自分が頑張って残業すれば何とかなる」とも思っていました。ただし、平成11年以前は看護師など特定の職種を除き、女性は深夜労働が禁止されていたため、空港場内で実施される22時以降の調査や工事の監督を経験することができず、男性と同じように働けないことに不満を感じていました（今は本人が免除を申し出ない限り、男性と同様に深夜の業務に従事することができます）。

しかし、結婚・出産を経て母親となった時、残業が前提の業務量や深夜の業務の存在が重荷となりました。「独身の時、何で男性と同じであることにこだわったんだろう？」と、同じ人物とは思えないくらい意識が変わりました。

私は気持ちの切り替えが不得手で、家庭に仕事の悩みを持ち帰る様な性分で、子供が小さい時も仕事に重点をおいて過ごしてしまいました。一方、主人は「子供が小さい時は仕事をあきらめざるを得ないこともある」と、気持ちを切り替えることができる人でした。テレワークもない時代、子供の保育園の迎えをほぼ引き受けてくれ、仕事と家庭を良く両立できていたと思います。主人は仕事と家庭の両立の大変さを人一倍知っている「イクメン」であり「イクボス」ではないでしょうか。



子供たちと夫(子育て真っ最中の頃)

時は戻りませんので、私自身は過去を反省しつつ、後輩が同じような思いや悩みを抱えなくて済むように支えていくことが役目だと思います。

3 技術士になって良かったこと

私は仕事も家庭も中途半端で、何をやるにも「どうせ私なんて」と気後れしていました。技術士試験も末っ子が小学生になった年に挑戦を始めたものの、勉強も長続きせず、中だるみがあり、合格したのは末っ子が中学校を卒業する年でした。「母さん 9 年かかったね」と言われましたが、挑戦し続けて合格できたことは大きな自信になりました。

技術士になって、以前なら気後れしていたことも「やってみよう」と前向きに思えるようになりました。また、技術士会に入り、土木分野以外の方とも話す機会ができました。思わぬところで土木と他の分野との関わりに気づかされることもあります。

4 これから

社会人になり、気がつけば 30 年経ちました。子供が小さいうちは急な発熱や学校の行事で休むことも多く、罪悪感を持ったり仕事との両立に限界を感じたりし、何度も「もう無理」と思いました。それでも働き続けることができたのは、主人の支えと、「子供が小さいうちは仕方ないよ」とフォローして下さった職場の先輩方のお陰です。今では子供達も社会人となり、互いの仕事の悩みなどを話すこともあり、働き続けて良かったと実感しています。先輩方に直接恩返しをすることは叶いませんが、子育て中の後輩が安心して働き続けることができるようフォローすることも恩返しかなと思っています。

これからも、技術サロンで技術者を目指す女子学生と話したり、理科教室で女性の技術者の存在を知ってもらったり、(私が勝手に思う)恩返しの幅を少しずつ広げていきたいです。

自らの多様性をイクボスとして活かしたい

瀬尾 弘美

技術士（建設部門／総合技術監理部門）

株式会社建設技術研究所

文学部地理学科卒業後、建設コンサルタント会社に入社

専門は河川環境計画、現在は DE&I 推進を担当、日本技術士会、土木学会会員



1 イクボスとは名ばかりですが

新卒で入った建設コンサルタント会社で、技術者として 20 年あまり河川環境計画などの業務を担当していました。現在は管理部門で人事部および DE&I 推進を担当しています。

技術部にいた時、グループリーダーまでの職位を経験し、現在は室長です。いずれも少人数のチームですが、それぞれの部署での、管理的な立場としての経験を紹介できればと思います。

2 技術部での管理技術者として

建設コンサルタントの業務は、主に官公庁がクライアントです。私は、国や地方自治体の管理する河川が担う治水・利水・環境の役割を、それぞれの河川が適正に発揮できるように調査し計画する業務を担当していました。入社当初は、女性技術者が珍しい時代でしたが、たまたま、直属の男性上司が 3 人の小さなお子さんを持つ共働き夫婦で、保育園のお迎えなどに奔走する姿を見せてくれていました。この上司が、今思えば「イクボス」で、私もこの会社で働いていけそうだと思うきっかけになりました。

技術部での業務は、管理技術者を中心とするチームで行います。管理技術者になるためには、技術士や RCCM(シビル コンサルティング マネージャ)などの資格が必要となります。私は文系大学の出身なので、大学で土木の専門教育を受けていません。技術士の資格取得は到底無理ではないかと思っていました。しかし、「この川 환경을良くしたい」という技術者としての使命感と気概を持つことで、技術力を身につける目的が明確になり、幅広い業務経験の中で必要な専門知識を身につけ、尊敬する周囲の先輩技術士の仕事ぶりを見ながら技術士の素養も獲得できたのではないかと思います。

管理技術者の大きな役割は、プロポーザルで仕事を受注すること、受注業務を自ら行いながら、業務の工程・品質管理などを行うこと、そして、後輩を育てることです。今、振り返ってみると、業務の獲得と生産に追われていて、イクボスとしては失格だったかなと思います。どちらかというと時間をかけて仕事をするタイプだったので、ワーク・ライフ・バランスを取ることは難しく、仕事仲間にも家族にも負担をかけてきたように思います。しかし、チームで仕事することはとても楽しく、報告書にまとめて納品した後の爽快感をチームの仲間と分かち合えたことは、幸せでした。チームで達成感を分かち合う、という喜びがあることを後輩たちに引き継げたのではないかと思います。

3 DEI 推進担当として

現在は、DEI 推進を担当しています。女性活躍から始まった部署ですが、現在はシニア、外国人、障がい者などはもちろん、価値観の違いや技術分野の違いなど、あらゆる多様性へと対象を広げ、社員全員が働きがいを持って働く会社を目指し、制度の改定などの業務を行っています。誰もが働きがいを持つためには、社員が自分のキャリアを自らの意志で築いていくことが必要だと考えています。そのためには、会社が社員のキャリアを支援することが必要です。人材育成やキャリア形成にますます力を入れていきたいと思っています。



DEI 推進イベント

4 これから

管理部門に異動してから、日本技術士会 DEI 委員会、土木学会 DEI 委員会、土木技術者女性の会など、对外活動の機会が増えました。土木業界など技術分野の業界は、これまで多様性が認められにくい状況にありました。その業界で女性活躍などに向けた活動をしていく中で、文系出身の女性である自分自身の多様性を意識するようになりました。これまでの少数派としての自分の経験と会社での DEI 推進担当としての取り組みが、業界の DEI 推進に活かされるように、活動を続けていきたいと思っています。

業界でも会社でも、DEI 推進は道半ばですが、ダイバーシティにインクルージョンとエクイティの視点が入ったことで、進むべき道がより明らかになったと思います。技術者であり DEI 推進を担当する者として、会社、業界、社会全体に貢献していくことが私の夢です。

資格が結ぶ人脈

高野 真希子

技術士（建設部門）、博士（工学）

中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京株式会社

道路橋床版の疲労に関する研究に従事

現在は、高速道路の橋梁点検、調査、点検ロボットの開発を担当



1 技術士を目指したきっかけ

私は、大学でのポスドクを経て、民間企業（現職）に転職しました。博士は最高位の学位であり、大学の研究所などの学術機関では博士号は欠かせませんが、民間企業などの産業界では技術士の方が求められていると感じ、常に不十分な気がしていました。そのため、「学識と実務を兼ね備えること」を自身の目標として定め、国家資格である技術士の取得にチャレンジしました。

2 技術士としての仕事

私は、高速道路の安心・安全を確保する会社の一員として、主に橋梁の調査業務に従事しています。コンクリートの性状調査などでは、自らドリルを担いで現場に向かうこともしばしばあります。また、点検を安全に効率的に実施するための技術開発にも携わっています。斜張橋の斜材点検を自走で行うロボットの開発を行っています。初号機開発後、点検条件に応じた改良、顧客ニーズに応じた改良を継続して実施しながら、かれこれ10年。このロボットには、まるで我が子のような愛着を抱いています。



点検ロボットによる斜張橋の点検

最近では、土木学会など、社外の委員会への参加も依頼されるようになりました。博士としてのキャリアに加えて技術士としての実務経験も増え、「学識と実務を兼ね備える」といった目標を徐々に実践できているなど感じています。

3 技術士になって良かったこと

自縄自縛(じじょうじばく)からの解放といったメンタル的な解放感が一番大きいです。仕事上では、有資格者として認知いただき、社外での役割も増えてきました。これに伴い、他企業、各専門分野で活躍されている方々との交流の機会が増えました。技術士として社会貢献することの大切さを改めて実感し、自身の意識も大きく変わったように思います。

4 ワーク・ライフ・バランス

幸いなことに、男女共に育休取得、シフト制などの就労規則が整備されており、ワーク・ライフ・バランスに理解がある職場です。高校生の息子を持つシングルマザーですが、学校行事への参加やPTA活動も業務調整しつつ両立できています。また、実母の助けをありがたく受け、出張にも気兼ねなく出させていただいています。子供に手がかからなくなってきた一方で、両親が高齢者ですので、今後は介護休暇なども活用していくことになるかと覚悟しています。



鉄道オタクの息子と鉄道旅

5 技術士会に入会して良かったこと

現委員長に委員会への参画を薦めていただいたことに感謝しています。参画することで社外のような専門家の委員の方と交流が持てることは大変貴重な経験だと思います。会員としての夢は、土木学会弦楽合奏団のような楽団を結成すること。全国大会や部会行事で演奏を行い、演奏活動を通して会員同士の交流を深めること、社会貢献を行うことです。

6 技術士を目指す方へ

私は、マイペースで不言実行し、数年かけて資格を取得しました。まずは、RCCM(シビルコンサルティング マネージャ)の取得、その後技術士と、段階的に難易度を上げて挑戦しました。技術士試験対策では、試験セミナー、通信講座なども活用しました。自分自身で目標を設定し、自分のペース、自分のやり方で成功を手に入れてください。

マネジメント職を経て今思うこと

武井 加代子

技術士（建設部門）

日本工営都市空間株式会社に約 30 年間勤務後、早期退職



1 私の経歴

建設コンサルタント会社に入社し、河川設計を担当しました。支店への異動に伴い河川以外の設計も担当することになり、2001 年に建設部門（道路）の技術士になりました。本社の道路部署と支店を何度か往復し、2012 年に造成や開発の部署の課長になりました。2015 年に東京支店の課長となり、2018 年に実務主体とする技術課長へ役職変更しました。早期退職し、マネジメント職を離れた今、振り返って思うことをまとめてみました。

2 管理職として意識していたこと

私は管理職となってから以下の 3 点を意識していました。

1) 社員へのリスペクト

最初に課長になった部署は自分の専門ではなく、課員は全員男性で半数は年上でした。品質、工程などの課題が多く、専門知識が必要な部分を課員と話し合っ解決の方向を探していきました。課員から教えられることも多かったため、課員を技術者として尊重する姿勢が培われ、信頼構築ができたと思います。

2) 健康面への配慮

課員の半数が働き方改革前から在社する 40～50 才代であり、自分の健康より業務を優先する傾向がありました。健康診断の再検査や検査入院、軽微な手術が必要な社員には健康を優先した休暇取得を促しました。管理面でも長期休養となるより、数日間であればフォローが容易です。課員からの健康面の相談には、「1 年後の大きな手術より今の日帰り入院のほうがあなたにも会社にとってもよいのでは」と提案し休暇を取ってもらいました。

3) 業務リスク対応がしやすい環境

業務の中で、協働する専門部署や客先からの依頼内容の変更など、すなわち他部署との

協議・調整に課題がありました。この解決のため、社内外の協議に参加し、課員の不得意な業務を把握したり、部署全体で課題を共有することで業務のリスク対応を行いました。

3 難しかったこと

私がか社で最初の女性管理職であったため、マネジメントに不安がありました。技術は周りに相談できましたが、管理面では気軽な相談相手が見つけれませんでした。そのため、インターネットによりマネジメント術や人事の考え方、女性管理職の事例などを調べて自分なりにやり方を考えました。

支店に異動してからもマネジメントを模索していましたが、2年ほど経って親の介護など家庭状況の変化に伴い、実務担当へ役職変更させてもらいました。

4 これからのテーマは帰属意識（Belonging）

D&I の次のテーマは Equity（公平性）ですが、その次の考え方とされている DEI&B の B（Belonging：帰属意識）に注目しています。帰属意識とは、組織、チームなどにおいて自分が受け入れられている安心感と言われています。私も入社当初は自分に存在価値があるのか、会社に認められているかなどと悩んでいました。

何年も考え、会社や周りに認められることを気にするより、自分がやるべき、やりたいと思ったことをやろう、後悔しない仕事のやり方をしようと割り切ることができました。

最近テレワークやフレックス勤務など、働き方や組織のあり方が見直され、対面で気軽に話す機会が減り、ちょっとした相談や表情から相手の不安感や不満をくみ取ることが難しくなりました。部下が帰属意識を持てるような方策の必要性を感じています。

社員一人ひとりの存在を認め、一緒に業務に携わっていきたいことを伝えることが部下の帰属意識を高めることにつながると考えています。

5 おわりに

今後のマネジメントでは、リアルコミュニケーションが減る中で、人である部下（や上司）とどのように関わっていくのか、組織内の関係性を見直す時期が来ているように感じます。どのような管理手法となるかは未知数ですが、帰属意識を持つためには、相手を気にかけて、見守っていることがわかる手法が必要と考えています。

諦めなければなれる技術士(なって良かった思いを胸に)

堂領 弘昌

技術士（建設部門）

HRS株式会社（北海道小樽の地域コンサルタント）

高校（文系）→ 測量の専門学校（理系）

→ 北海道旭川の農業土木のコンサルタント 5 年 → 現職 25 年目



1 技術士を目指したきっかけ

高校卒業後、浪人して大学を目指したものの、測量の専門学校に進学しました。測量や土木設計という業種は、知りませんでした。ですが、もともと計算や物づくりが好きだった事もある、学校で教わったことが楽しくて夢中になりました。

技術士の印象は、大手コンサルの人が合格するもので、大学に進学していない私は到底合格できないと思っていました。しかし、コンサルとして経験を重ねるにつれて「担当技術者ではなく一人前の技術者として会社や発注者に認められたい」という思いが年々強くなっていったところ、後輩が技術士に合格して技術士が身近な存在となり、もしかしたら合格できるかもと思い本気で目指しました。

2 技術士としての仕事

地域コンサルタントであることから高規格道路、国道、交通事故対策、道の駅駐車場、舗装修繕設計まで地域に関わる道路設計や防雪柵など雪に関わる付属物設計および i-construction モデル事務所の ICT 施工のサポートも行っています。

3 技術士になって良かったこと

技術士は、43 歳の時に合格しました。技術士になって良かったことだらけです。会社での評価、役職、年収がぐんと上がりましたし、技術士の仲間が全国各地にできました。

また、業務を行う際に経済性を主とする考え方が変わり、公共の安全・環境の保全を常に意識するようになりました。結果、業務表彰をいただきました。



表彰式 娘達を招待できた

4 ワーク・ライフ・バランス

プライベートでは、シングルファーザーを選び娘と暮らして5年目になります。朝食・夕食は一緒にすること、学校行事には参加することを決めています。最近では、お弁当作りも加わりました（家事・

育児・仕事をこなし技術士試験や資格試験にチャレンジしている人は本当に尊敬します）。

技術士の活動も楽しくやっています。その他に学生からやっているサッカーで50歳から入れるシニアチームに入れていただき（あまり戦力になっていませんが）チームが好成績を収めています。また、娘が中学校の卒業式に「中略、これからは、お父さんの人生楽しく過ごして」と嬉しい手紙を書いてくれました。それから、仕事・趣味以外にも幸せになることを模索した結果、幸運にも彼女を見つけることができ（彼女も技術士）、遠距離ですがとても充実した毎日を過ごしています。



全道大会優勝！いざ全国大会へ

5 技術士会に入会して良かったこと

技術士取得の際にお世話になった人の勧めで北海道本部の「青年技術士交流委員会」の活動に参加しました。同年代の技術士と楽しく活動を行いました。その中でも技術士の知名度向上を目的とした授業「技術士を知ろう！小学生編」の企画を立案し、娘達の小学校で開催することができたのは最高でした。



科学実験教室 ペットボトルロケット

現在は「社会活動委員会」の「技術者のミライ研究委員会」で学生向けの技術士紹介授業の補助や「エンジョイ・サイエンス研究委員会」で小学生対象の科学実験教室の補助をしています。子ども達と一緒に考え・楽しみ・触れ合うと笑顔になり癒されます。

6 技術士を目指す人へ

私は、技術士合格まで十数年かかりました。多忙な仕事・家庭・趣味で勉強時間がなく、何度も何度も受験を諦めかけました。しかし、隙間時間を見つけ、時間の使い方、セミナー等で技術士からアドバイスを求めたりして合格しました。途中で諦めなくて良かったと思います。その思いで、技術士を目指す人を応援する活動の会に参加しています。

技術士は諦めなければ合格できると思っています。

海外での体験に基づく自らの実践活動

原田 敬美

技術士（建設部門）

株式会社 SEC 計画事務所代表取締役

1974 年早稲田大学大学院修了、1976 年ライス大学建築大学院修了
博士(工学)、国際建築アカデミー教授(ブルガリア)、元港区長



1 実践活動事例

学生時代、機会をいただき 3 度海外留学しました。1969 年アメリカ、1971 年スウェーデン、1974 年再度アメリカです。その後、建築の国際会議に招へいされ、また、自ら国際会議を主催し、海外での労働文化、女性の社会参画を体験しました。そうした体験を基に今日まで指導者として活動しています。

私は小規模な設計事務所を経営しています。心がけていることは以下のとおりです。

- 1 定時退社(帰宅し家庭サービス、地域貢献活動に参加せよ)
- 2 お茶はセルフサービス(女性社員にお茶くみさせない)、社長自らトイレ掃除
- 3 人権意識の醸成(外国人社員もいることから異文化に対する敬意)

2000 年から 2004 年東京の港区長を勤めました。約 3,000 人の組織で、管理職は約 70 人、うち、女性管理職は 4 人。区議会議員は 34 人、うち、女性議員は 2 人。心がけたことは以下のとおりです。

- 1 女性職員に管理職を目指すよう督励。女性管理職が働きやすい労働環境の整備（例えば、酒の席での意見交換はせず、昼間堂々と意見交換する、定時退社に努める）
- 2 議会運営の改善要望(議会の延長などによる残業がないよう議長に要請した)

2 海外で体験した女性活躍

1971 年スウェーデンで目撃したことは衝撃的でした。バス、地下鉄の運転手の半数が女性でした。ストックホルム工科大学、隣国のフィンランドのヘルシンキ工科大学を訪問すると学生の半数は女性でした。

トルコの大学に時々招聘されます。女性教員、女子学生が多くいます。学長、学部長にも多くの女性がいます。OECD 諸国の中でトルコの女性研究者比率は、アメリカ、スウェーデン、フィンランドよりも上位です。

それぞれの国で女性が活躍しているということは、男性パートナーが家事、育児に何らかの役割を果たしていると考えられます。トルコで夫は大学教授、妻は陸軍の将校という夫婦と交流しています。現在 10 歳の女の子を育てています。夫婦で家事育児の役割を担っています。

3 定時退社の労働文化

1971 年スウェーデンの設計事務所、1975 年アメリカの大学研究所でインターンを勤めた際、職員は 5 時で全員退社。また、1980 年代イギリスの大企業英国石油(BP 社)でも定時退社。帰宅し家庭サービス、地域活動に参加します。お茶(コーヒー)はセルフサービスです。東大大学院の研究室で、女子院生が研究室会議でお茶くみさせられたと憤慨していました。

4 1980 年代イギリスのイクボス(家庭を大事にしろ)

1980 年頃、私の後輩が日本の商社からロンドンにある BP 社に転職しました。ロンドン到着後、日本の商社マン的発想で直ちに BP 本社に出向いたら、ボスから「奥さんが引っ越しの整理、子供の入学手続きなどで大変だろう、1 週間会社に来るな、家庭を大事にしろ」と指導されました。

5 メジャーリーグのイクメン

2025 年 4 月 18 日ドジャースは「大谷が産休制度で 3 日間父親休暇リストに入った」と発表しました。日々勝負の世界で最有力選手が 3 日も休むのは球団にとり痛いことであり、ファンからすれば 3 日も大谷の活躍を見ることができないのは残念でしょう。

しかし、メジャーリーグでは「家庭を大切にすることで仕事が充実する」という考え方を球団、選手、球界、ファンが共有しているということです。

1980 年代、阪神タイガースで活躍したアメリカ人選手がホームランを量産している最中、6 月に子供の卒業式に出席すると突然帰国しました。球団もチームメイトも阪神ファンも「ホームランバッターがなぜ欠場するのか？」と不思議に思いました。アメリカでは親が子供の卒業式に出席することは義務です。40 年前の日本人には理解不能の「身勝手な行動」と映ったと思います。

世界に影響を与えるメジャーリーグのスーパースター大谷が出産休暇を取ったということで日本でも出産休暇、家庭を大事にする考えが広がることを期待します。

人間万事塞翁が馬

森原 百合

技術士（建設部門／環境部門）

日本工営株式会社

東京大学大学院農学生命科学研究科生圏システム学専攻修了

環境影響評価、脱炭素化支援、公園計画等のコンサルティングに従事



1 技術士を目指したきっかけ

小学生の頃、実家近くに広がる谷津干潟が、ゴミだらけで汚臭等が問題となり埋め立てられてしまう寸前から、市民の手でラムサール条約登録湿地になるまでを目の当たりにしました。これがきっかけで「環境と農業に関わる仕事がしたい」と思い、学部は生態学、大学院は農学系の研究室へ。

そんな私にとって、土木や建設コンサルタントは全く縁遠いものでした。しかし、現職場に勤めている研究室OBが世界を舞台に活躍する姿を見て、この業界に飛び込もうと決めました。就活を進めるうち、建設コンサルタント業界では業務を受注・遂行する上で技術士資格が必須であると知り、修士課程の間に技術士第一次試験を受験し資格を得ました。

2 技術士としての仕事

入社5年目に3度目の正直で建設部門-建設環境を取得しました。当時は、研究部門にて、建設事業における希少種保全や外来種対策、里山の地域資源の活用についての研究開発等を行っていました。翌年、第一子の産育休を取得後、コンサル部門に移って、河川環境や公園計画の調査・検討業務等を担当しました。このとき公園事業の奥深さにどっぷりとハマり、第二子を妊娠中に環境部門（自然環境保全）を取得しました。

第二子出産後は、これらの経験が組み合わさり、再エネ導入を含む脱炭素化支援や自然公園の利用適正化といった、比較的広域な地域の将来像を検討する業務を担当しています。

3 技術士になって良かったこと

技術士取得以降、初めてお会いした方、特に民間のお客さんや業務パートナーから、一人前の「技術者」として見て頂けるようになったと感じています。特に資格の取得当初は、嬉しさよりも、ここからがスタートと身の引き締まる思いがしたのを今も覚えています。

4 ワーク・ライフ・バランス

コロナ禍で在宅勤務が一般化して以降、働き方も働きやすさも大きく変わったという方が多いかと思います。子育てしながら働くという意味では、我が家は学校トラブルで子のメンタルが不安定になることが度々あります。急な欠席時の見守りや、気を持ち直してやっと登校できた日には顔を見て「おかえり！」と言えることに助けられています。

子どもが生まれた後は、遠方や長期の出張は難しい時期がある一方で、働くからには何ごとにも貪欲にチャレンジしたいと逆に強く思うようになりました。また、「妊婦」、「幼子連れ」という社会的弱者に身をおくことは、バリアフリーの有難さ・必要性や、国・自治体の各種制度に関するユーザー目線での課題など、これまで見過ごしていた様々なことに気付く貴重なきっかけにもなっています。



クジラの調査の話をしたら
長女もクジラ好きに

本稿執筆時点では第三子の産育休中です。三人抱えた状況でどのくらい働けるかは未知数ですが、その時々で優先順位を見直しながら、良いバランスを探っていこうと思います。

5 技術士会に入会して良かったこと

部会や会報誌を通じて多様な分野の方の意見を知り、業務にそのままつながる情報を得ることができます。また、技術士会の Web サイトでキャリアモデルとして紹介されているのを見たとき声を掛けて頂くことが少しずつ増えてきました。今後、会の活動により積極的に参加していければと考えています。

6 技術士を目指す方へ

体感として、技術士になったからといって即座に仕事や働き方が変わった訳ではない気がするものの、紛れもなく「技術で生きていく」という覚悟につながりました。

どんな地球を未来の世代に残したいか。そこに私は技術士としてコミットしていきたいと考えています。技術士資格は、人生に思わぬイベントが起きても回りまわって身を助けてくれると思いますので、挑戦される方、してみようかなという方を全力で応援します！

出会いとチャンスを大切に、技術士として生きる

宇田川 理沙子

技術士（上下水道部門／衛生工学部門）

日本技術サービス株式会社 東京事務所

秋田県立大学大学院を修了後、浄化槽法定検査機関で水質評価・調査研究業務等に従事、転職後は上下水道コンサルタント会社に所属



1 技術士を目指したきっかけ

私が技術士を目指したきっかけは、『結婚・転職』と『先輩技術士との出会い』です。

30代後半で結婚し、それに伴い転職をしました。それまでは技術職でしたが、転職後は営業を主軸としつつ、技術も兼務することになりました。さらに、長期の産休育休や時短勤務が必要となったことから、再び技術職を目指すのか、営業職のままでキャリアを続けるのか迷いました。このとき、職場の先輩技術士から「技術士を取得して専門性を生かした働き方をしてはどうか？応援するよ。」とのアドバイスを頂き、技術士を目指しました。

2 技術士としての仕事

私は営業部に所属していますが、入札関連業務の他にも、技術職として下水道コンサルタント業務における顧客との打合わせや報告書作成等を行っています。最近では、下水道汚泥の肥料化に関する業務に携わりました。汚泥肥料化業務は、近年注目されている業務である一方、過去の類似の事例が少なく、水処理以外の知識も必要です。大変なことも多くありましたが、同時に、注目度の高い業務に携わりながら、社会貢献ができる喜びを感じました。



大学時代の研究テーマ「八郎潟残存湖におけるアオコの発生抑制」

3 技術士になって良かったこと

技術士になって良かったことの1つ目は、出産後も専門性を生かして水処理に携わっていくことが可能になったことです。大学時代から水処理を学んできた私にとって、水処理を通じての社会貢献ができることは喜びのひとつです。

2 つ目は、最新の技術や業務に携わる機会が増えたことです。必然的に、学ぶことが多くなり、仕事に必要な知識への理解が深まりました。

4 ワーク・ライフ・バランスについて

現在は、夫、子供 2 人（3 歳・0 歳）、犬（5 歳）と暮らしています。

仕事は子供がある程度大きくなるまでは時短勤務を基本とし、必要に応じて在宅勤務をしています。妊娠中は、会社として子育てと仕事の両立しやすい勤務体系を整えていただきました。家事

は夫と徹底的に分担し、効率化しています。料理・洗濯は夫が、掃除とお風呂は私が主担当としてこなします。ただし、家事は完成度 5 割でできれば OK と割り切り、その分、家族で楽しめる時間を増やしています。

育休中は基本的には育児に専念していますが、仕事とは大きく異なるところがあり、今でも苦労しています。特に、作業が細切れに中断されることがストレスです。また、朝寝・昼寝・夕寝の寝かしつけにそれぞれ一時間かかることもしばしばで、自分のペースでタスク処理ができないことにもストレスを感じます。夫・近親者・自治体と協力していかに自分の時間を確保し、ストレス解消を図るかも重要です。

時間は有限で、全てに完璧を求めると苦しくなってしまいます。物事の優先順位を明確にし、丁度よい落としどころをつけることは、仕事でも家庭でも同じではないでしょうか？

5 技術士を目指す人へ

技術士は科学技術に携わる人、特に、仕事が面白くなってくる 20 代後半～40 代にライフイベント（結婚・出産・育児等）が重なりがちな女性にとって大変な強みになる資格です。フルタイムでなくとも何らかの関わり方で専門性を生かすことは可能です。学生の方は、今のうちに技術士第一次試験へチャレンジしてみてください。また、専門と異なる分野の講義でも、気になったら積極的に受けてみましょう。専門業務は奥深いですが、それだけではなく、さまざまな分野につながっています。そして、いざ、技術士第二次試験にチャレンジする際は、口うるさく応援してくれる人を大事にしてみてください。技術士資格は 1 人では取得困難ですが、そのような方はきっと合格をもぎ取るための力になってくれます。



家族でさつまいも掘りへ

技術者としての拠り所

笹尾 圭哉子

技術士（上下水道部門）
中日本建設コンサルタント株式会社
中央大学理工学部土木工学科卒



1 技術士を目指したきっかけ

大学卒業後現在の勤務先に入社し、下水道の計画・設計に関する業務に携わってきました。入社当初から技術士の受験を勧められていましたが、なかなか真剣にはなれず、受験しても冷房もない暑い大学の教室でひたすら試験の終了を待っているような状況でした。

入社10年目の頃、同期の男性社員との賞与の差を知ったことが、受験へのモチベーションアップにつながりました。平成5年度の受験で合格し、上司からの合格を伝える電話に頭がぼーとなったことを覚えています。色々悔しい思いもしましたが、のんびり屋の私が本気になれたことは良かったと思っています。また、「土木技術者女性の会」の同年代の仲間が若くして技術士資格を取得していたことも大いに刺激になりました。

2 技術士になって良かったこと



勤務先にて

技術士資格を取得して最も良かったことは、「技術者としての拠り所」を得られたことです。入社当時は男女雇用機会均等法の制定前で、技術者に限らず女性が社会で働くこと自体が珍しく、ましてや土木工学科卒（中央大学で女子学生初の卒業生でした）であることや、下水道分野を選択したことについて、どこに行っても不思議がられました。客先との打ち合わせでは「なぜ土木に行ったの？」から話が始めますし、技術担当者として見られていないように感じたこともありました。

名刺に「技術士」と入ってからはそうした状況は一切なくなりました。何よりも「技術者として一生やっていける」と自分自身で思えたことが嬉しいことでした。また、土木学会誌編集委員などの社外活動へのお声がけをいただく機会が増え、ネットワークがぐんと広がりました。日本技術士会では上下水道部会の幹事や委員会活動

に参加しています。年齢や性別を問わず、自分とは異なる分野の方々とも知り合えることが魅力です。豊かな技術者人生を送れていると感じています。

3 ワーク・ライフ・バランスについて

以前は残業が多く仕事中心の生活でしたが、それでも手描き友禅染などの趣味や社外活動にも多く携っており、睡眠時間がかなり少ない状況でした。

現在は働き方改革やコロナ禍を経て、業界全体として働き方が変わったと感じています。私自身も囁託という立場になり、以前とは大きく生活が変わりました。家事をするようになり、愛犬との時間を大



旅先にて

切にしています。愛犬とはできるだけ一緒にいたいと思い、友人たちとの旅行にも連れて行きました。また、数年前に大学時代のサークル仲間と 43 年ぶりに音楽活動を再開しました。それぞれの住まいは札幌から下田までと離れていますが、毎週リモートで演奏を楽しんでいます。このほか地元の町会では自主防災活動や様々な行事に参加し、地域の方々のコミュニケーションを深めています。

4 技術士を目指す方へ

技術士資格を取得していなければ、技術者としての現在の自分はありませんでした。私にとってその恩恵は計り知れないものです。仕事上だけでなく社外活動を通じて得た人的交流は、精神的な支えであり、大きな財産となっています。技術士を目指す皆様にも一日でも早くこの恩恵を受けていただきたいと思います。

5 今後について

私が入社した当時は下水道の処理人口普及率が 30%程度と低く、白地図に下水道の計画区域を落とすところから始まる仕事もありました。現在では下水道整備が概成している都市が多く、改築更新の時代になっています。それでも将来の都市の姿を想像して計画を作成する基本理念や社会貢献につながる仕事であることは変わりません。これからも自己研さんに励みながら、若い世代の方々に社会基盤整備の重要性を伝えていきたいと考えています。また、仕事以外の生活も楽しみつつ、地域の自主防災活動なども含め、これまで、そして今もお世話になっている皆様へ恩返しをしていきたいと思っています。

社会をより良くするためにできること

小林 裕典

技術士（衛生工学部門）

パシフィックコンサルタンツ株式会社（建設コンサルタント）

2014 年に入社、2020 年に休職、英国 University College London に留学して開発学を修了後、復職、現在に至る



1 技術士を目指したきっかけ

建設コンサルタントという業種すら知らなかった大学院生の私は、同じ研究室の OB から紹介され、現在所属する会社・業種があることを知りました。元々、環境分野でコンサルタントが良いと考えていましたが、話を聞いていくうちに理想的な仕事だと感じるようになりました。

また、入社前には自分の能力が活かせる仕事をと考えていましたが、今の能力では難しいと感じる仕事も挑戦しがいがあるのではと、思い切って海外業務分野に手を挙げて入社しました。その後の約 4 年間の国内廃棄物部署への社内外向（修行）を通じ、技術士は海外で専門性のある自立したエンジニアとして認められるために必要と考え、取得を目指しました。

2 技術士としての活動

国内では技術士が業務の資格要件のようになっていますが、私は技術士を保有したときから海外業務分野に従事していたため、資格が資質面での保証書のように機能していたと思います。海外の廃棄物だけでなく、廃棄物とエネルギーといった複数の分野に関するプロジェクトに従事するたび、政策から現場業務までの幅広い知識や思考力を試される技術士試験の経験が生きています。自然と包括的な視点から開発課題を捉えるような習慣を作れたことが、今の私の活動を支えていると感じています。

3 ワーク・ライフ・バランス

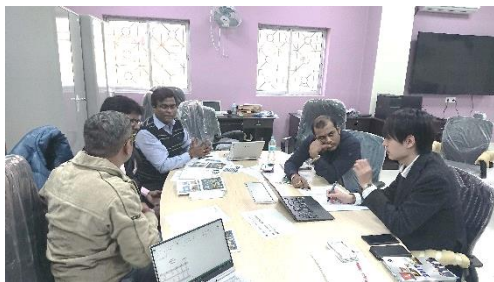
2020 年の英国留学の直前に結婚し、妻と二人でそのまま留学するという荒業に挑みました。留学先では工学以外の幅広い分野について学ぶ多忙な日々で、妻とはお互い慣れない異国生活をする中で衝突もたくさんありました。ですが、これらの経験が技術のみに向けられていた自分の視点を、より社会全体にまで広げてくれたため、ジェンダーギャップについてことさらに意識するようになり、男女共同参画推進委員会（現 DEI 委員会）に入るきっかけにもなりま

した。

妻と話し合った後は、ほぼ毎日、夜ご飯を作るため、子供がいるわけでもないのに早めに帰りました。最初は職場で後ろ指を指されているのではと不安になりましたが、逆にそうしていると周りの人も早く帰るようになり、結果として周りの意識変化を促せたかもしれません。

4 技術士になって良かったこと

複合的な分野の対応を求められることが往々にある海外業務において、技術士資格を持つことで自分には技術の芯が一つあると自信が持てるのは大きな効果です。この自信は、さらに多方向の業務に挑戦し、知見を伸ばしていく際の勇氣にもつながりますので、結果として停滞することのない刺激的な日々を送れていると感じています。



インドで技術研修を行う様子

5 これから取り組みたいこと

海外業務では必要なデータがないことが多く、データがあることを前提とする国内業務よりも、目的意識に基づいた原始的なアプローチが必要です。また、日本人として育った自分の中にある偏見に向き合い、開発に付属するあまたの側面を理解していこうという意志がなければ、その国に、本当の意味でよりよい技術的解決策を提示することは困難です。私は技術士になったことにより、専門知識だけでなく、技術的課題に取り組める思考力の素地もあるという自信を持って、この先も海外での開発業務に携わりたいと思っています。

さらにその際、英国留学を経て気づけたジェンダーギャップなどの社会的な課題も念頭に置き、開発国で特に困難な生活を送る社会・経済的弱者にも優しい開発を促進できるような技術士として活動したいと思っています。本当の意味で社会全体を良くするためには、ジェンダーなど、全ての人に対する地道な意識変革が重要です。私自身の継続的な勉強も含め、自分が貢献できる技術士会活動や社内活動を通じ、身近なところから働きかけていきたいです。

6 技術士を目指す方へ

技術士を取ってからがスタートだとよく聞きます。私は、自身の経験から、技術士取得は自分に自信を与えてくれ、より大きな世界に目を向けることができるきっかけになると思います。皆さんも、ぜひ人生を変える一つのツールとして挑戦してみてください。

継続は力なり

柵木 環

技術士（農業部門－農業土木）

いであ株式会社 農業環境資源事業部

36 年間農林水産省で農業土木に係る仕事を担当、その後、建設コンサルタントで農業農村基盤整備の調査計画設計業務の照査等を担当



1 技術士を目指した動機

私は大学/大学院と農学部で「農業土木」を専攻しました。「農業土木」は、あまり聞き慣れない言葉かもしれませんが、端的に言えば農業のための土木です。具体的には、農業に必要な生産基盤等の環境を整えるための技術分野です。例えば、作物栽培に必要なかんがい水を確保するためのダムをはじめ、河川から取水するための施設（頭首工、用水機場）や、農地へかんがい用水を送水、配水するための水路などをつくる技術です。大学院修了後は、専門を活かして、農林水産省に農業土木技官として入省しました。農林水産省では農業生産基盤整備の制度設計や予算要求を、地方農政局の出先事業所では直轄事業の調査、計画、設計、工事などに携わりました。技術者研修を担当した時に、先輩から、「これまでは〇〇係長、〇〇課長などの役職名で、技術力があると認知されていたが、それは通じない時代になっている。技術力を示す国家資格を持つべきだ。」とのアドバイスを受け、技術士や1級土木施工管理技士などの資格を取得しました。

2 取得してからの自分

技術士試験の合格後は、名刺に「技術士（農業部門）」と記載しました。技術士資格を取得したことで、仕事の内容が変わることはありませんでしたが、自分の意識としては、新しい技術への関心や知識向上への意欲が高まりました。その後、現在の会社に再就職してからは、技術士の資格を活かして、照査技術者として業務成果のチェックなどを担当しています。

3 ワーク・ライフ・バランスについて

以前は仕事に追われて、子育てに十分な時間を割けず、ベビーシッターやキッズシッターを活用しました。子ども達には、年齢に応じて可能な限り自己責任を持つことを教え、何とか公務員を定年まで続けることができました。現在は、ワーク・ライフ・バランスを重視する企業が増えていますが、夫婦だけで家事育児をすることは大変なことだと思います。家族の助け合いの精神を大切にしつつ、必要な時には外部のサポートを活用することもお勧めします。

4 技術士取得へのアドバイス

若い方々には早めに技術士資格の取得を目指すことをお勧めします。日本技術士会では、技術士を目指す技術者を支援するために、IPD（Initial Professional Development、初期専門能力開発）制度を整備していますので、それを活用しながら資格取得を目指していただければと思います。

5 これからの自分

以前は定年退職がゴールだと思っていましたが、今は人生 100 年時代であり、再就職は折り返し点だと認識しています。現在の建設コンサルタントの仕事でも、新しいことに挑戦しながら技術を磨いています。

一方、最近の技術士試験の受験者数の女性割合を見ると、第一次試験で 17.1%、第二次試験は 6.9%と、まだまだ女性の割合が低いのが実態です。このような現状を踏まえて、女性が早い時期から技術士資格に関心が高まるように活動をしていきたいと思います。



醸造用ぶどう収穫のお手伝い

技術士になって広がった、キャリアと未来につながる学び

原田 佳代子

技術士（森林部門-森林土木／総合技術監理部門）

1級土木施工管理技士、林業普及指導員

千葉県出身 大学院修了、地方自治体勤務



1 技術士を目指したきっかけ

私は大学院修士課程を修了し、地方自治体で林業職として林業振興に携わっています。学生時代は文系で、森林・林業を学んだ経験はありません。大学院での研究で国内外の入会林野（いりあいりんや。ある一定の地域に住む人々がその地域の慣習に従って、薪炭材等を採取するために共同で利用・管理している山林、原野のこと）の管理手法を取り上げたことをきっかけに、森林のフィールドで働きたいと考え、現在の勤務先に入庁しました。

担当業務では森林・林業に関する知識や現場調査の経験が必要です。入庁後間もない時期には、同世代の職員との差を感じることが多く、周囲と肩を並べるためには自主学習が必要という認識がありました。

また、若手時代から地方公務員として社会貢献したいという思いを持っていました。高度な技術力・技術者倫理を有する技術士に私自身になることで、地域住民の方々への信頼確保につながると考え、資格取得を志しました。

2 技術士としての仕事

所属先では、保有資格と職位等は特に関連がないので、私自身は昇格等で技術士資格を活用できた経験はまだありません。ですが、発注業務においては、受注者側の管理技術者の資格要件として技術士が位置づけられていることから、さらに発注側でも技術士が業務に携わることで、業務の品質向上につながれることが私の強みと感じています。

一方、資格取得までの過程や、技術士となってからの技術士コミュニティで得た論理的な考え方を若手職員に伝え、私なりに働きやすい組織づくりを考えながら日々業務に取り組んでいます。業務外では、後述する技術士活動を周囲にアピールすることで、技術士に関心を示し、私が紹介した CPD 行事に参加してくださる職員が増えてきました。所属先においても少しずつ技術士コミュニティを広げようとしているところです。

3 技術士になって良かったこと

技術士になり、日本技術士会の活動を通じて得た人脈は、資質やモチベーションの向上につながっています。まず森林部会では、幹事として部会運営に携わっています。CPD 行事への参加や諸先輩方との交流により、専門技術の向上を図っています。

また、これまで国際委員会、青年技術士支援委員会等で活動してきました。各委員会には様々な部門の技術士が所属しているため、話をしているだけでも知見が広がります。青年技術士支援委員会在籍時には技術士全国大会に参加し、各地の青年技術士仲間と交流することで良い刺激を受けました。

総合技術監理部門の取得もこの活動の中で思い立ち、先輩方のアドバイスを受け合格に至った経緯から、委員会活動は私の技術者人生に大きな影響を与えていると思っています。

4 ワーク・ライフ・バランス

入庁以来、就業時間内に求められた品質で業務を遂行することを心掛け、業務と余暇のバランスをうまく取れるよう工夫しています

体を動かすことが気分転換になるため、終業後や週末には自宅周りをジョギングし、定期的にマラソン大会に

も出場しています。これまでに旅行も兼ね、北海道や沖縄の大会にも出場しました。



2022 年技術士全国大会第四分科会

5 技術士を目指す方へ

技術士には継続研さんが求められていることから、試験合格はゴールではなくスタートだと思っています。私は技術士コミュニティで得られた様々な経験で、業務や自主学習主体の過去の自分から何倍も成長できた自負があります。この冊子をご覧になっている方にも、できるだけ早期の技術士取得をおすすめいたします！

1 人でも多くの方が技術士資格を取得し、このコミュニティで切磋琢磨し合えることを心待ちにしております。

技術士はいつでもだれでも目指せます！

岡野 利之

技術士（水産部門）

水産部会副部会長、DEI 委員会委員、技術士資格活用委員会委員、
食品技術士センター理事、海洋大技術士会事務局長



1 技術士を目指したきっかけ

学生時代は、自然環境と食糧問題への関心から水産に興味を持ち、水産業界（漁業団体と魚市場）へ就職して現場中心に生産～流通～販売まで一通りの業務を経験することができました。その後、縁あって水産系の団体職員となり、現在に至っています。

「技術士」については、就職してから目にした業界新聞の記事により存在を知りましたが、取得が難しい資格であり、当時、業務経験も浅かったことから縁のない資格だと思っていました。その後、現職に就いた当時の上司が技術士であったことから受験を勧められ、第一次試験と第二次試験を経て技術士を取得するに至りました。技術士試験を経験したことで、社会人になってからでも新たな勉強はできるという認識が生まれました。この認識により、次に社会人大学院生として博士課程の学位取得の挑戦につながりました。

2 取得してからの自分

私は、2010 年に技術士（水産部門）を取得し、同時に日本技術士会に入会しました。水産部会に所属し、水産業界の様々な分野でご活躍されている諸先輩方の存在を身近に感じられるようになりました。また、委員会や会員による活動グループにも所属したことで、水産部門以外の技術士の方々とも多くのご縁が生まれました。



インドネシアの魚市場訪問

仕事においては、水産業に関わる業務で国内外を訪問する機会が多い中、初対面の方にお会いした時に技術士であることが信用確保の一助になっていると受け止めています。

3 ワーク・ライフ・バランス

技術士を取得する以前から運動系の活動として、空手道に関わっております。私の解釈ではありますが、技術士と武道に共通性を見出しています。日本武道協議会による武道の定義を紹介します。「武道は、武士道の伝統に由来する日本で体系化された武技の修練による心技一如（しんぎいちにょ：精神と技術は一体であること）の運動文化で、心技体を一体として鍛え、人格を磨き、道徳心を高め、礼節を



空手道の稽古風景

尊重する態度を養う、人間形成の道であり、柔道、剣道、弓道、相撲、空手道、合気道、少林寺拳法、なぎなた、銃剣道の総称を言う」と記されています。このように複数の種類が存在している武道には、共通した心技一如の考え方があります。多くの技術部門から成る技術士も各分野の専門性だけでなく、共通した技術士倫理が必要とされています。このような共通点に気づき、相互理解が深まることでワーク・ライフ・バランスにつながっていくものと捉えています。

4 技術士取得へのアドバイス

技術士取得には、業務経歴のみが必要で、学歴や年齢は不問であり、何度でも受験が可能です。広く公平に受験のチャンスがありますので、ご自身の現在の状況を考慮しながらタイミングを見て受験することができます。ただし、第二次試験は、第一次試験の合格者または JABEE 認定教育課程修了者に限られます。詳しくは、日本技術士会ホームページから「技術士試験 受験のすすめ」をご確認ください。技術士を取得してからは、技術士法に定める義務と責務を守り、技術士倫理を遵守し、公正、誠実に行動することが求められます。

5 技術士を目指してみたいと考えられている方へ

現役の技術士や技術士を目指す学生等が出演したラジオ番組である「技術士・20+1 部門」、「技術のミカタ」を YouTube で視聴することができます。楽しく聴いていただき、技術士に親しみを感じていただければ幸いです。



技術士 20+1 部門



技術のミカタ

夢を現実に変えていこう

石野 智子

技術士（経営工学部門）

(株)日立製作所入社、コンサル組織センター長、担当本部長職を経て
現在(独)情報処理推進機構に出向し、特命担当部長として活動



1 異端児エンジニアとしての生き方

大学を卒業し、電機メーカーに入社後、製造、ロジスティクス、サプライチェーンマネジメントと、次々に新しい領域へ貪欲に挑戦しました。当時からスペシャリストだけでは飽き足らず、新しい領域と巡り合う機会を大切にし、それを「剣山型」と称してジェネラリストの看板で仕事をし続け、これが異端児への出発点となりました。

2 自分の仕事のやり方が組織化に

取り扱う領域が増えると取引先が増え、何とか多くの企業の注文に応えたいと思うようになります。自分のエンジニアリングスキルを体系化し、手法化しました。そんな私にチャンスが来ました。自分の手法を核にしたコンサルティング部門を立ち上げ、部長職として牽引する話でした。チームビルディングとしては、尊重し合う環境を作り、上下関係なく率直に議論できる雰囲気になりました。メンバーの裁量でできる限り自主的にやってもらえるようにも配慮しました。その結果、部下たちも成長し、密に情報交換して助け合う自慢の組織になっていきました。



シンガポールの職場
にて息子・母と

3 挫折

コンサルティング部門の部員が増えるにつれて、社員教育が追いつかなくなりました。自ら余計に働き、予算達成するのがリーダーだと思い込んでいた結果、部下がどんどん減っていき組織が消滅してしまいました。組織なので全員が稼げるように育成するのがマネジメントであり、自分で補填していたら組織としていつか破綻するということに気づきませんでした。これで終わるのは悔しいという無念さが残り、新規事業を考案しました。ソフトウェアをブロック化し組み合わせることで、多種多様な顧客要件を少ない工数で業務ア

アプリケーションとして実現するシステムで、後に MONOSOLEIL という商標名で製品化したものです。当初、構想書を持ち回って社内説明に奔走しましたが、誰も成功したことのないリスクも大きい事業に対し、耳を傾けてくれる人はほとんどいませんでした。

4 再出発

そんなとき、覚悟を決めて出向するなら投資するというグループ会社の社長に出会えました。立ち上がりは苦劳しましたが、チーム員の価値を尊重し「ありがとう」から始め、互いを思いやる組織にしていきました。一方で、このプロジェクト外の反応は相変わらず厳しく、できるはずがない、無駄遣いだという感じでした。それでも、チーム員の誰もが成功を信じ、周囲に感謝の気持ちを重ねていったら賛同者が増えていきました。前述した MONOSOLEIL と名付けた製品が完成し、初号機が顧客先で大きく成果を出しました。国内外特許も取得し、日立製作所の社長賞も受賞しました。信じて応援して下さった多くの人たちによく恩返しができたと思いました。



顧客からいただいた
日立社長賞受賞記念品

現在、2度目の出向で、元気にしたい対象が個々の企業から日本の製造業全体に変わりました。思いが同じと言ってくれる仲間もでき、新たな挑戦を始めています。

5 経験から学んだこと

失敗の経験が、私の精神力を鍛えてくれました。最初は理解されない悲しい気持ちに満ちあふれていましたが、苦劳を重ねるうちに自分自身の問題であることに気づきました。斬新なことにチャレンジしているのだから、理解されなくて当たり前であり、話を聞いてくれる人がいるだけで感謝すべきことなのだと思います。チームビルディングの意識も変わりました。リーダーが頑張ることで乗り越えるには限界があり、チーム員の価値を尊重し、協力し合う一体感を作ることこそが成果につながることも学びました。

6 イクボスへのアドバイス、技術士であること

必要なのは、一歩踏み出す勇氣、覚悟、情熱、感謝だと思います。自分1人の力では決して達成できません。部下や周囲の人たちにどれだけ支えられているかを常に意識し、感謝の言葉を伝えることをお勧めしたいです。

技術士は、技術だけでなく、人としての器や仕事に向き合う姿勢も含め、総合的にバランスよく研さんしていくことが求められます。そういう意味で、私にとって技術士資格は常に自分自身を振り返る拠りどころになっています。

家庭も仕事も技術士会も

藤原 普夫

技術士（環境部門）

株式会社ロッテ

東京理科大学大学院 基礎工学研究科 修了

パッケージのライフサイクルを通した環境負荷低減に取り組む



1 経歴と自己紹介

私は、新卒で株式会社ロッテに入社し、研究所でチョコレートや焼き菓子の開発・研究を行いました。その後、本社マーケティング部門にて商品開発などを経験し、現在は研究所にて商品パッケージの開発・研究を行っています。パッケージは、おいしいお菓子を安全・安心にお客様の手元にお届けする商品の一部でもありながら、食べ終わった後は不要となり、ごみとなります。近年の環境対応へのニーズの



学生に対し、環境とパッケージの関わりについての講演の様子

高まりを受け、パッケージの環境配慮設計はもちろんのこと、捨てた後も含めたパッケージのライフサイクル全体を通しての環境負荷低減を目指した活動をしています。

プライベートでは、中学生と小学生の2児の父として、ワーク・ライフ・バランスを保ちながら、仕事と家庭の両立を図っています。夏休みの自由研究と一緒に取り組んだり、家族でキャンプに出かけたりと、たまには頼れるお父さんを演じながら、日々新たな発見や体験などを通して、子どもと一緒に楽しんでいます。

2 男性の育児参加をとりまく環境

近年では、男性の育児休暇も普及し、私が初めて父親になった10年以上前とは、社会も会社もだいが雰囲気が変わったように思います。実際に、私の勤める会社でも男性従業員の育児休業取得率が約72%（2023年度）となっており、取引先の営業担当の方が育児休業を取得する場面にも多く遭遇するようになりました。

私自身は、男性育休が普及する前だったこともあり、育児休業は取得していませんが、休みの取りやすい環境で働いているので、授業参観や保護者会、運動会などの学校行事に

は積極的に参加するようにしています。家庭外での様子を見ると、新たな発見や子どもの成長を実感できる喜びがあります。

ここで、少し日本技術士会との関わりをお話します。最近、子どもが部活や習い事などで休日家にいないことも多く、その間に埼玉県支部の科学技術振興委員会にサポーターとして参加させてもらっています。また、埼玉県支部の活動を通して、技術士の同期合格の方々と仲良くなり、定期的に情報交換会（飲み会）も行っています。子どもたちは「お父さんは、技術士というものになって、その界わいで何やら楽しそうに過ごしているらしい」くらいには、うっすらと理解してくれているようです。いくつになっても勉強を続ける姿勢や、新しい環境で充実した日々を過ごす姿勢などを見てもらうことで、少しでも子どもたちの成長の手助けになればと思っています。

3 みなさんへのメッセージ

家事育児に関しては、貢献度は共働きの妻の足元にも及びません。それを自覚した上で父親としての役割を果たし、子どもと一緒に成長できるまたとない機会を精一杯楽しめたいと思っています。これから子育てと仕事の両立を目指す皆さんへのメッセージです。「家庭を第一に、仕事も育児も、一緒に楽しみましょう！」

4 これからの自分

技術士会の活動に参加することで、家庭と職場以外の第三のコミュニティができました。そこで出会った方々は、専門性も普段身を置いている環境も違いますが、それぞれの想いがあって技術士を志した根っこの部分に共通性を感じます。人生 100 年時代、子どもが独立した後も生涯現役でいられるように、仲間からの刺激をもらいながら、自分の力を磨き続けたいと思っています。父親として子どもの成長をサポートするだけでなく、自分自身も成長し、良き見本となれればと思います。



技術士同期合格の仲間と共に

生涯イチ・エンジニアとして

小牛田 尋志

技術士（情報工学部門）、日本技術士会フェロー
株式会社テクノプロ テクノプロ・デザイン社
シニアデータサイエンティスト、コンピュータエンジニアとして
40 年弱、スパコンから AI の分野で活躍



1 生涯イチ・エンジニア

1986 年に新卒で入社した会社からスタートして、気がつけばコンピューター系のエンジニアとして、約 40 年がたとうとしています。最近では、どちらかというとプロジェクトマネジメントの立場で、若手エンジニアの支援を行うことが多くなっていますが、あくまでもイチ・エンジニアとして技術を楽しむ日々を送っておりますので、その一端を紹介していきたいと思います。

2 スパコンから AI の分野で活躍

これまでのキャリアは、最先端技術をひたすら支える側としてのイチ・エンジニアでした。始まりは、世界一の実効性能を持つスーパーコンピューターの基盤ソフトの開発に携わりました。京が出る 20 年以上前のことです。次に、東京証券取引所および銀行系オンラインシステムの高信頼性ソフトの開発、AI エンジンの企画・開発、そして最近では、人材の可視化、キャリア支援などの人材ポートフォリオ構築のために AI を活用する仕事をしています。

AI エンジンの開発をするようになった頃から、若手技術者の支援を行う機会が増えてきました。入社して間もない若手エンジニアとタッグを組んで、さまざまなプロジェクトに取り組みながら、これまでに自身が身につけてきたエンジニアとしての姿勢を継承することを心がけてきました。

3 キャリア支援

現在進めている人材ポートフォリオ構築は、社員のキャリア支援が最重要課題となっています。エンジニアそれぞれが持つスキルを可視化して、個々のエンジニアの属性に合わせたキャリアプランを提案するシステムの構築を行っています。また、最新の生成 AI など

の技術を活用して、多くのエンジニアに役立つ情報提供にも取り組んでいます。同時に、自らのチームでは、このようなチャレンジングなプロジェクトに、若手エンジニアや女性エンジニアも含め、多様なエンジニアの特徴を生かし、意欲的に活躍していただけるよう、個々の得意とするテーマ選定を日々模索しています。平均年齢が 30 歳を下回り、女性比率が 3 割を超えるプロジェクトであり、自分自身もチャレンジングな環境で奮闘しています。

4 ワーク・ライフ・バランス

これまでの働き方を振り返ると、節目となった大きな出来事は 2020 年のコロナ禍でした。2020 年の 4 月に長く働いた会社を退職し、新たな会社でセカンドキャリアを開始したばかりでしたが、入社時からほぼリモートワークの生活が始まりました。同じプロジェクトのメンバーとも、事務所ではなくパソコン越しで業務のやりとりを続け、現在もそれは継続しています。リモートワークにすることで、プロジェクトのメンバーの多様性が高まりました。首都圏以外から参加するメンバーや育児中のメンバーが増えたのです。

リモートでの業務を進めるうえで役に立ったのが、前職での経験です。国内はもとより、海外の拠点とも、テレビ会議や電話会議で連携したプロジェクトをマネジメントした経験が生かされ、スムーズに進められました。さまざまな状況にある人が等しく活躍する機会を得るために、リモートワークはひとつの解であることを実感することができました。

5 これから

2021 年に日本技術士会の理事を拝命し、同年に男女共同参画推進委員会（現 DEI 委員会）に参加してから、DEI 推進に取り組んでまいりました。その中で、技術者の世界では、女性をはじめとしたマイノリティの活躍の場が限られていることを知りました。

社会が変化するなかで、その波に飲み込まれず、さまざまな立場の方々が乗りこなせるような社会基盤の実現に少しでも貢献できるよう活動を続けていきたいと思っています。

業界でも会社でも、その組織に入ってよかったと思える、ビロング（belonging）、自分の居場所がある組織をつくれるよう、DEI に B を加えた DEIB を推進することで、誰もがいきいきと輝ける社会、組織をつくることに貢献していきたいです。



第7回 DEI フォーラムにて

技術者人生にスパイスを

池田 紀子

技術士（応用理学部門／総合技術監理部門）

紀梢技術士事務所

富士通研究所で半導体、スーパーコンピュータ、
バイオインフォマティクス、人工知能の研究に従事し、退職後独立



1 企業研究者を目指したきっかけ

1980年代、半年間の米国海外研修で異文化コミュニケーションを学ぶ機会があった。いろいろな国籍・宗教を持つ学生の多様性と、環境や文化が異なる学生間で言語の壁を乗り越える包摂性を意識する日々を過ごした。そこで、従来の交渉スタイル（勝ち負けの対立型）ではなく、『Getting to Yes』という「原則立脚型交渉（Principled Negotiation）」アプローチを知った。これは、感情や立場にとらわれず、双方の利益を最大化し、公平で持続可能な合意を目指す方法である。これらの経験がその後の会社生活の礎となった。

また、西海岸の企業訪問中、バンク・オブ・アメリカビル最上階の役員フロアを見学した際、女性役員がいない、女人禁制の場所に女性でも訪問者だからあなたは特別と案内され、非常に驚いた。その時、入社面接で化学構造を研究の軸としていると話したシーンが思い出され、初心を貫き、できるだけ長くこの研究を続けたいと決意した。ここで、漠然とした海外への憧れから脱却し、自律的に選択し、より良く生きるという自身のウェルビーイング実践が始まったと思い返している。

2 技術士を目指したきっかけ

技術士資格を持つ同僚が大学教授に転職することになった。社内での挨拶回りを受けた際、立ち話して技術士の存在を知った。そして「あなたには技術士の資格が十分ある」と受験を勧められた。娘が大学に入学して子育ても一段落し、夫が単身赴任したこともタイムリーで、新たな挑戦への契機となった。勤務先にある企業内技術士会の活動は充実していて受験しやすい環境があり、加えて、社外での受験仲間との交流が励みとなり、技術士を目指すことができた。知り合った技術士の絆は強く、多方面で支援を得ることが現在進行形で、本当に嬉しい限りである。

3 技術士になって良かったこと

社内では博士と技術士に対して同等の報奨金制度があり、その恩恵を受けることができた。業務としての直接の恩恵はほぼなかったが、社外の方々とのディスカッション前の名刺交換で、技術士と認識いただくとスムーズな会話につながり、この資格に大いに助けられた。

4 ワーク・ライフ・バランス

両親の介護や看取りと並行して受験勉強することは想定外であった。技術士取得を目指すことに両親がとても喜んでくれたこともあり、この期間は仕事とプライベートの時間を調整しながら、充実した日々となった。生活スタイルに合わせた働き方を選択し、ストレスフリーで心身の健康を保つことを知り、その後も継続している。

5 技術士会に入会して良かったこと

多様な技術と経験を持つ技術士との出会いは刺激的で、会社生活とは異なる観点でキャリアを見直すことになった。技術士会活動を通じた多くの出会いと人脈形成から、新しいチャレンジの始まりに驚きながらも、さらに成長する機会を得て楽しく活動している。



2024 応用理学部会 in 北海道

6 技術士を目指す方へ

生成 AI のような新技術が登場し、世の中の動きが大きく変化している中で、仕事のやり方を見直し、サービスを正しく活用していく姿勢が求められている。当然、技術士にも必要であり、国際エンジニアリング連合(International Engineering Alliance, IEA)は、既存の枠組みや常識を超え、新しい発見や進歩をもたらすブレークスルー技術を積極的に活用することが技術士の要件であると述べている。私にとって新技術はまさに技術者人生のスパイスである。



第 52 回
日韓技術士国際会議

我々と一緒に新技術を活用し、仕事とプライベートを統合して相乗効果を出す「ワーク・ライフ・インテグレーション」で大きな活力を得ていきませんか？

星とダイナマイトと関東大震災

木戸 ゆかり

技術士（応用理学部門）

海洋研究開発機構 海洋科学技術戦略部 海洋 STEAM 推進課

1997 年 JAMSTEC 入社、専門は海洋底地球物理学

2024 年まで海洋調査船の科学支援、「ちきゅう」の物理検層を担当



1 地球科学との出会い

小学生の頃、父とよく屋根瓦に寝っ転がって星を見たのを思い出す。都会のスモッグの中、星の数は少なかったが、月や惑星はよく見えた。カール・セーガンの「コスモス」を一緒に観たのも、父とのよい思い出である。さらに出会った理科教員がどなたも個性的で私の理科熱にしっかり火を灯し、おかげで地学科への憧れをずっと保ち続けてきた。しかし、いよいよ大学への進学時に、肝心の父が大反対。女性の極めて少ない分野、オタクな男子学生ばかり、ついていくのが大変に違いない（実際その通りであった！）、もっと実用的な分野の選択を、と譲らなかった。これを粘って押し通して、千葉大学理学部地学科へ進学。ここでは多様な地学分野の研究活動が展開されていた。3 年次の航海実習が地球物理学を目指す決定的なイベントとなった。日本のはるか沖合 500km の北西太平洋。水深 4,000m の海底下にどのような地殻構造が広がっているのか、ダイナマイト発破による超音波エネルギーを用いた人工地震の発振で、海底面やその下の地下構造を探查するという実験であった。これを機会に地球物理学の中でも、海洋調査の方向へ進むことになった。

2 大正関東大震災の記録

そもそも海底地殻構造探查に興味を持ったのは、小さい頃から関東大震災に遭ったという祖母の話を繰り返し聞かされたことに始まる。大震災の時、小学 4 年の祖母は、詳しい手記を残してくれていた。体験しなくては絶対に記述できない臨場感あふれる詳細な東京が描かれていた。恐怖心の中で自然現象と対じした子供の心に映った世界感が、生き生きと伝わってくるものだった。ポストドク中に兵庫県南部地震（阪神淡路大震災）を経験し、新たに立ち上がった「海底から地震の巣を探るプロジェクト」の研究員公募があり、育児中ながら採用された。遠い昔の大震災を解き明かしたい思いがどこかにあったのかもしれない。

3 ワーク・ライフ・バランス

息子が小学生になり、乗船や出張が増えてきた。珍しい職業に就いているので、新聞のワーク・ライフ・バランスのコラムに寄稿したことがあった。船上生活は楽しいが、育児とのバランスが難しく、家事の得意なおじいちゃんに孫の面倒をみてもらっては乗船し、家に帰ると手抜き家事。中学生になった息子は、私が帰宅するとご飯炊けているよ、布団も敷いてあるよ、と手伝ってくれるようになり、私のよき理解者になっていた。そのことを書いたコラムが、当時の文部科学大臣の目に留まり、親子で直接お目にかかるという栄誉をいただいた。なんとか子育てを乗り切り、息子は高校卒業後、大学で寮生活を経て独り立ちをしていった。研究室の後輩の夫は、仕事に育児に理解が深く、さらに協力的であった。ずっと単身赴任だったが、週末には家族一緒の時間を持てたことが、仕事も育児も諦めずに続けられた秘訣だと思う。

4 技術士になって良かったこと

安全第一とはいえ危険と背中合わせの乗船活動であった。科学と技術と安全管理をセットで見渡せる技術士をいつか取ろうと狙っていた。日本技術士会の男女共同参画推進委員会(現 DEI 委員会)は、女性のリーダーシップや地位向上を目指す最先端の活動をされていて、とてもまぶしい存在であった。職場にはほとんど技術士はおらず、模索状態であったが、良き添削指導者に恵まれ、念願の資格を取った際には、思いがけず息子が祝福してくれた。ろくに母親としてじっくり接していなかった背中がどう映ったかわからないが、ずっと応援してくれていたことに涙が出た。分野を越えた人脈が得られ、様々な生き方に刺激を受け、生涯活動が続けようという原動力を得たこと、かけがえのない生き方を学ぶことができた。

5 技術士を目指す方へ

大正関東地震から 100 年以上が経過したが、IT 技術の進歩により映像化された震災の様子を見る機会があった。まさに祖母の目に映ったとおりの惨状が展開されていた。技術士の継続研さんの姿勢を大事に、リスク管理を視野に入れながら防災対策を練り、防災訓練は一生続けていく。本会における産官学の連携最前線での情報発信や普及広報活動は、国民への計り知れない効果がある。後進に向けて、これからも覚悟を持って日本技術士会の活動に関わっていく姿勢を貫きたい。



作業時には肌の露出を避け、防護服着用

技術士取得を通して得られたこと、家庭と仕事で変わってきたこと

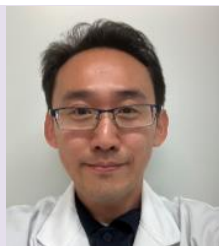
齋藤 剛史

技術士（生物工学部門）

TOPPAN ホールディングス株式会社

東北大学大学院環境科学研究科 修了

「食の力で予防治療」の道を異業種で切り開く！



1 経歴と自己紹介

宮城県仙台市の出身です。雪が嫌で、関東に就職と同時に越してきました。バイオがやりたかったのですが、最初は、印刷技術を活かしたセンサー開発に取り組みました。ほぼ、イエロールームという時間が分からなくなるクリーンルームの住人でした。その後、研究・経営企画を歩んだ後、飲料や食品パッケージ工場の調達部門を経て、現在の異業種テーマに着地しました。会社としても完全な専門外のため、自分が専門家になるしかないかと奮起し、技術士を目指しました。幸いなことに、家族の協力もあり、朝の時間を自由にしてもらえました。おかげで、家庭内では、パパは技術士を目指しているということが認知され、合格賞は今でも自慢げに部屋に飾っております。また、早起きに合わせ、食育として、仕事絡みとしても始めた家庭菜園も5年目を迎え、老後の趣味も得ることができました(笑)。

2 育児環境の変化と自身が変わったこと

コロナを機に一気に環境が変わったと思います。TOPPAN では定期券がなくなりました。出社確認がシステム化され、PC で管理されています。そのため、男性も女性も育児休暇をはじめ、テレワーク、半休などが取りやすい環境につながっています。育児環境は働き方改革と同時にコロナでも大分変わったと感じています。当時、製造業の職場でさえ、毎日全員が来なくても、うまくやれば、仕事が何とかできることに多くの方が気づいてしまいました。今でも、工場現場には全員が来なくても大丈夫という意識が残っています。

育児環境で思い出すのは、コロナ禍での子供たちの社会参加の機会損失と我が家の変化です。妻はエッセンシャルワーカーで出勤が必要でした。一方、子供たちは、幼稚園や小学校には行けませんでした。外でも遊ばず、友達とも先生とも会えません。運動会もオンラインでした。そんな子供たちの世話を私が一手に引き受けました。

そして今、私が週に2回は裁量テレワークが可能となったこともあり、日中のPTA参観、夕方の塾の送り迎えや学童への迎えなども夫婦で交代で行けるように変わりました。私にとって、家庭も仕事もメリハリがついた気がします。パパも役割分担するという意識が夫婦で強まり、「パパ(ママ)は、必ず、その時間に、子供の所へ行く」という「育児≡行事」が我が家ではルール化されました。

3 みなさんへのメッセージ



技術士仲間とお食事会

視野を広く持つことは、技術士として、とても大切であると考えています。そして、語り合える場があることや、仲間と出会えることが、技術士会、支部会などの財産だと感じています。昨年は、合格したばかりだったこともあり、色々な部門に顔を出していました。偶然、違う部門同士が別の関心の高い部門の見学会で一緒となり、その後、意気投合して、子供たちも交えたお食事会などに発展することもありました。

4 これからの自分

埼玉県支部でのつながりを大切にしたいという想いから、集いの写真を掲載しました。私は、子供が好きな方なので、科学技術振興支援委員会などの活動にオブザーバーとして参加しています。子供たちの自由研究を常に考えているような感じで楽しく参加させてもらっています。

多くの専門家にとって、分かりやすく科学技術を伝えるというのは、意外に難しいのですが、この活動こそ、サイエンスコミュニケーションだなと感じています。

多くの方々との出会いからの自己研さんが、多くの人たちに広まり、これからの科学技術を良い方向に導く次世代へのうねりになって欲しいな、と明るい未来社会を想像しています。



技術士会を作ったのは、吉田茂！

埼玉県支部の集い

編集後記



いかがでしたでしょうか。実に様々な「技術士」のキャリアを知ることができたと思います。持っている資格は同じ「技術士」なのに、置かれた立場や状況は人それぞれ。普通なんてあり得ません。状況や立場は違っても、人々の暮らしや社会を技術で支えるとってもいい仕事をしています。読まれたみなさんの将来の姿を想像するきっかけとなることを期待しています。

なお、表紙のイラストは、前冊子に引き続き神田蘭子さんに描いていただきました。私たち冊子作成メンバーの意向をくんでいただき、出来上がったものです。技術士はイノベーションを起こすリーダー、最初はひとりで孤独な時があるかもしれないけれど、目標とするとところには明るい未来がある。そんな編集メンバーのイメージを形にしてくださいました。さらに、手に持っている羅針盤は、自ら方向性を探り、社会に貢献できる力を育むためのものです。

自分の未来はどんなものになるか、多くのみなさんは不安を持ったりするかもしれません。どんな技術士が社会で活躍しているのか、事例を目にすることも少ないために、そのような不安が生まれます。私たちは、実際に数多くのイベントを通じ、中高生やその保護者の方々、学生、若手技術者、中高大学等の先生など様々な立場の方とお話し、多様なキャリアを知りたいというご希望が多いことを知りました。この冊子がみなさんのお役に立てることを願っています。

公益社団法人 日本技術士会 DEI委員会
前副委員長（前広報小委員長）高橋 健一

日本技術士会 DEI 推進宣言

I 目指す姿

日本技術士会は、多様・多彩な技術者、技術をつなぐプラットフォームとして、誰もが能力を発揮し、誰もがその人らしく生きられる社会の実現に貢献します

II 趣旨

日本技術士会は技術士の品位の保持、資質の向上等を図ることにより、科学技術の向上や国民経済の発展、国際交流の推進に寄与し、さらには広く社会に貢献することを使命としています。

本会は多様な専門性を持つ高度な技術力と実践力を備えた技術士を擁し、この強みを活かすことで真価を一層発揮し、社会課題解決に貢献し得ます。

今日のような不確実性の高い時代において、本会の使命を果たし、強みを活かすためには、既存概念に囚われない柔軟な発想、多様な視点で社会課題の解決に向き合うことが必要です。

本会は、DEI^{*1}、すなわち多様性（Diversity）、公平性（Equity）及び包摂性（Inclusion）の推進により、すべての技術士が活躍し、社会課題の解決やウェルビーイング（Well-being）^{*2}の向上に貢献することを宣言します。

^{*1} DEI（ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン）とは、多様性を包摂し、誰もが公平に活躍できる状態をつくり、新たな価値創出などの組織力を高めようという考え方

^{*2} ウェルビーイング（Well-being）とは、肉体的・精神的・社会的に満たされた状態

III 基本方針 ～DEIを推進する3つの「シンカ」～

1. 意識の深化 ～DEI風土・文化の醸成～

日本技術士会は、技術士や技術士を目指す方の多様性を高め、誰もが活躍できる風土・文化を醸成します。また、これらの方がDEI推進の意識を深め合えるよう支援します。

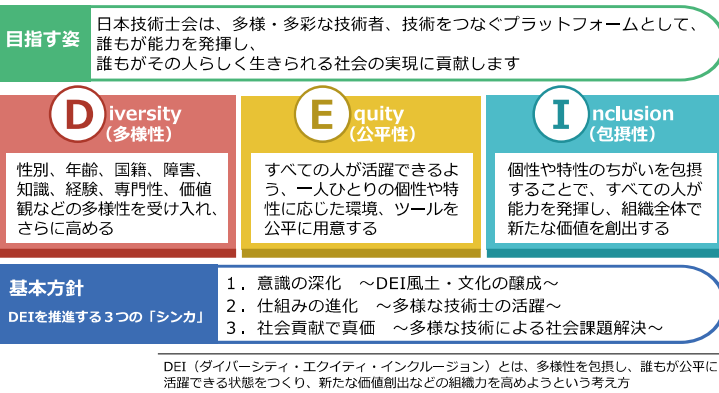
2. 仕組みの進化 ～多様な技術士の活躍～

日本技術士会は、仕組みや取組みの進化により、性別、年齢等の多様な会員が活躍できる環境を拡大します。これにより、DEIを推進する行動の促進や多様な技術士の活躍につながります。

3. 社会貢献で真価 ～多様な技術による社会課題解決～

日本技術士会は、技術を通じたコミュニケーションの機会を増やし、本会内外でDEIを実践する活動の輪を広げ、社会課題の解決やウェルビーイングの向上につなげることで、私たちの真価を一層発揮します。

日本技術士会DEI推進宣言（概要図）



〈DEI 委員会 編集メンバー〉

飯島 玲子（委員長 建設／総合技術監理）

小牛田 尋志（理事・副委員長 情報工学）

高橋 健一（副委員長・広報小委員長 建設／総合技術監理）

瀬尾 弘美（D&I 小委員長 建設／総合技術監理）

中田 よしみ（女子学生・女性技術者支援小委員長 原子力・放射線）

前澤 峰雪（委員 機械／総合技術監理）

池田 紀子（委員 応用理学／総合技術監理）

加藤 靖広（委員 建設／総合技術監理）

北浦 直子（委員 建設）

野方 美歩（委員補佐 機械）

山崎 千恵（委員補佐 電気電子／総合技術監理）

宇田川 理沙子（委員補佐 上下水道／衛生工学）

笹尾 圭哉子（委員補佐 上下水道）

角田 ふで子（委員補佐 環境）

※役職は 2025 年 6 月現在

『技術士キャリアモデル集 Vol.2

ーあなただけのトクベツな未来を拓きましょうー』

2025 年 7 月 31 日 発行

編集 公益社団法人 日本技術士会 DEI 委員会

発行 公益社団法人 日本技術士会

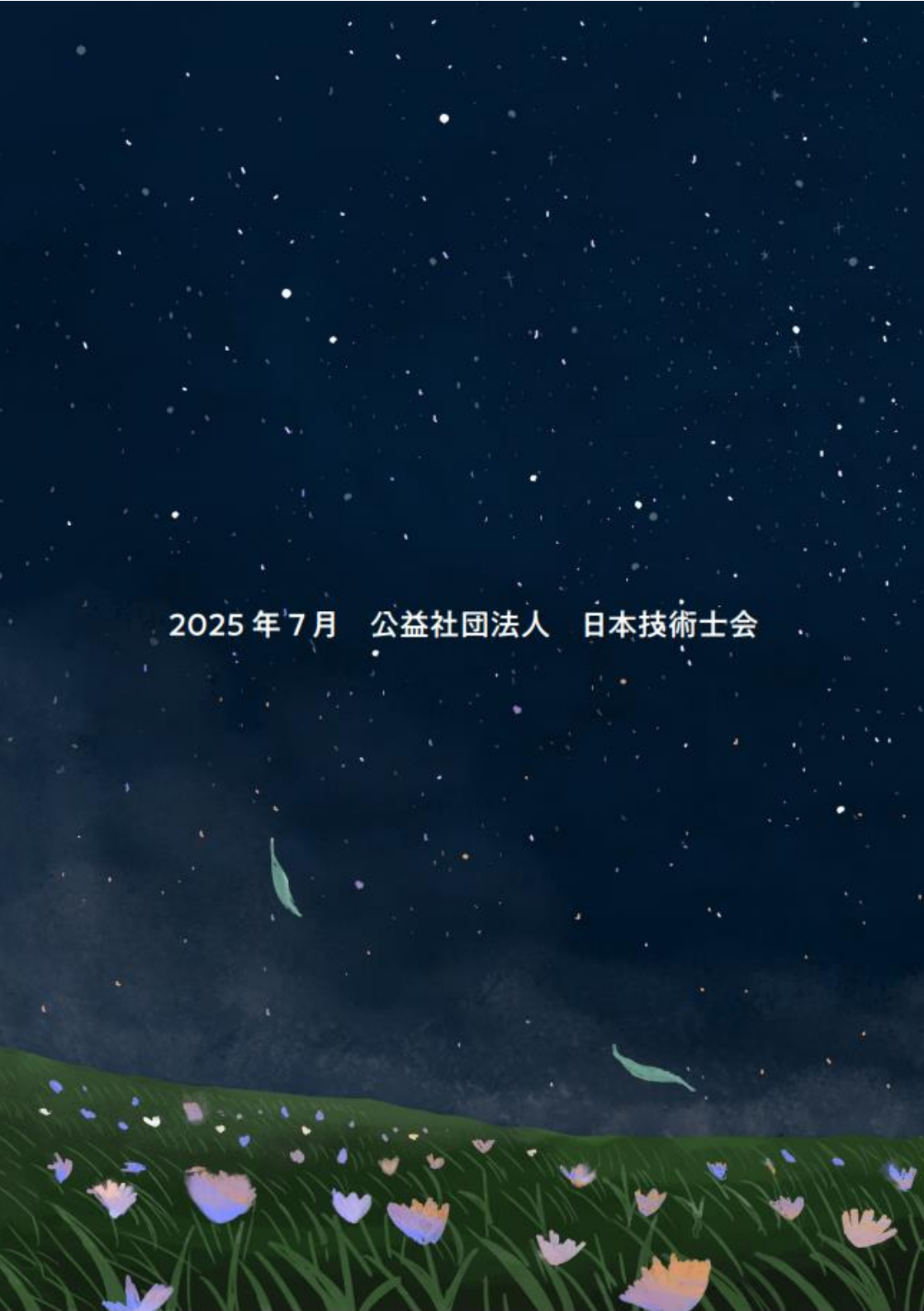
〒 105-0011

東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館

TEL (03) 3459-1331 / FAX (03) 3459-1338

URL <https://www.engineer.or.jp/>



The background of the entire page is a dark, deep blue night sky filled with numerous small, white stars of varying brightness. Some stars have small, faint halos. In the lower portion of the image, there is a dark green, rolling hillside. Scattered across this hillside are many small, stylized flowers. Some flowers are light blue, some are pale yellow, and some are a mix of blue and yellow. The flowers have a simple, open-petal design. A few green leaves are also visible, floating or falling through the air between the sky and the hillside.

2025 年 7 月 公益社団法人 日本技術士会